

令和5年度社会福祉法人ときわ会
「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・
「あゆみ」の事業報告について

令和5年度 社会福祉法人ときわ会 事業報告書(案)

自 令和5年 4月 1日
至 令和6年 3月31日

1. 法人の概況

事務局所在地	: 江南市河野町五十間88番地
電話番号	: (0587) 50-7555
代表者職氏名	: 理事長 春日井 昌市
許可年月日	: 昭和55年12月18日
認可番号	: 厚生省収児第1167号
設立登記年月日	: 昭和56年 1月 7日

2. 法人の行う事業

令和6年3月31日現在

社会福祉事業	第一種	施設種別： 障害者支援施設（生活介護・施設入所支援） 名称： ふじの木園(定員40名) 施設長名： 本間 浩平
	第二種	事業種別： 障害福祉サービス事業（生活介護） 名称： ときわ作業所(定員55名) 施設長名： 佐藤 和弥
		事業種別： 地域活動支援センター（Ⅱ型）【江南市指定管理】 名称： 江南市在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ(定員25名) 施設長名： 大川内 誠
		事業種別： 地域活動支援センター（Ⅲ型）【江南市指定管理】 名称： 江南市中心身障害者小規模授産施設(定員概ね15名) 施設長名： 佐藤 和弥
		事業種別： 障害福祉サービス事業（短期入所） 名称： ふじの木園(定員5名) 施設長名： 本間 浩平
		事業種別： 障害福祉サービス事業（共同生活援助(介護サービス付型グループホーム)） 名称： ときわホーム「ニコット」(定員6名) 施設長名： 佐藤 和弥
		事業種別： 障害福祉サービス事業（特定相談支援） 名称： ふじの木園 施設長名： 本間 浩平
	事業益	事業種別： 貸館事業【江南市指定管理】 名称： 江南市在宅障害者デイ・サービス施設あゆみ(定員25名) 施設長名： 大川内 誠

3. 職員数

令和6年3月31日現在

施設名	事業名	雇用別		施設長	サビ管	看護師	栄養士	相談員	支援員・指導員	事務員	介助員	運転手	世話人	計	合計	
ふじの木園	生活介護 施設入所 短期支援	常勤	正規	1 (1)	1	2	1		16	2				23 (1)	34 (1)	
			契約						1					1 (0)		
		非常勤							10					10 (0)		
	特定相談支援	常勤	正規	1 (1)					1						2 (1)	3 (1)
			契約												0 (0)	
		非常勤						1						1 (0)		
ときわ作業所	生活介護	常勤	正規	1 (1)	1 (1)				8 (6)	1				11 (8)	23 (13)	
			契約						2 (2)					2 (2)		
		非常勤				2 (2)			8 (1)					10 (3)		
ときわホーム	共同生活援助	常勤	正規	1 (1)	1 (1)				5 (5)				※5	7 (7)	17 (11)	
			契約						※1				2 (2)	2 (2)		
		非常勤							4 (2)				4 ※2	8 (2)		
小規模	地域活動支援 センター (Ⅲ)型	常勤	正規	1 (1)					1					2 (1)	5 (2)	
			契約						1	1 (1)				2 (1)		
		非常勤							1					1 (0)		
あゆみ	地域活動支援 センター (Ⅱ)型	常勤	正規	※1					2					2 (0)	11 (2)	
			契約						2	1 (1)				3 (1)		
		非常勤			2 (1)				3			1		6 (1)		

法人事務局	雇用別		事務局長	事務局次長	事務主幹	事業主幹	事業主任	事務員	事業員				計	合計
	常勤	正規	(1)	(1)		(3)		(3)	(7)				0 (15)	0 (15)
		契約											0 (0)	
非常勤												0 (0)		

- ・職種の「サビ管」は「サービス管理責任者」の略
- ・職員数の（ ）は他事業所との兼務として再掲
- ・職員数の※は同一事業所内での兼務
- ・ふじの木園常勤支援員17名は育児休業中の1名を含む
- ・ときわ作業所常勤支援員10名は育児休業中の1名を含む
- ・あゆみ正規指導員2名は育児休業中の1名を含む

4. 主務官庁指示に関する事項（運営）

障害福祉サービス事業者等実地指導（愛知県）

監 査 実 施 日	令和5年10月18日
監 査 方 法	実地指導
監 査 対 象 事 項	ふじの木園（施設入所支援・生活介護・短期入所） ときわホーム（共同生活援助）
監 査 実 施 官 庁	愛知県福祉局福祉部福祉総務課監査指導室 障害福祉事業者指導監査グループ

指 示 事 項	履 行 状 況
<p>ふじの木園</p> <p>① 個別支援計画作成にかかる一連の業務をサービス管理責任者が担当していることが明確になるよう記録を行うこと。</p> <p>② 変形労働制時間制を採用している場合の常勤換算に留意すること</p> <p>③ 入院・外泊時加算について、週に一度の訪問、連絡等がなされていないものがあつたため、自主点検の上、返還等必要な措置を講じること。</p>	<p>① 個別支援計画に係る一連の書類については、サービス管理責任者が担当していることが明確となるよう、アセスメントシート、モニタリング評価表、個別支援計画書にサービス管理責任者の氏名を記載するように改めた。</p> <p>② 施設が採用する4週単位での変形労働制の常勤換算の点検方法について、愛知県へ確認後、常勤換算に留意していくことを報告した。</p> <p>③ 過去5年分の入院実績のある利用者について、訪問や連絡等の記録についての有無を確認し、記録等の実績がない期間については、返還の対応を講じた。また、加算の算定要件の原則及びコロナ感染症に係る臨時的な取り扱いを遵守した算定を行うことを報告した。</p>
<p>ときわホーム</p> <p>④ 個別支援計画作成に係る一連の業務サービス管理責任者が担当していることが分かるよう記録の残し方に留意すること。</p> <p>⑤ 重要事項説明書に「第三者評価の実施状況」を追記すること。</p>	<p>ときわホーム</p> <p>④ （履行状況①）ふじの木園と同様の内容で改めた。</p> <p>⑤ 重要事項説明書に第三者評価の実施状況を追加した。</p>

5. 契約に関する事項

令和6年3月31日現在

契約年月日	相手方名称	目的	期間	賃貸料	その他
平成12年 4月 1日	江南市	更生施設用地	30年	無償	申出更新
平成13年 4月 1日	堀場 美喜夫	畑	1年	無償	自動更新
平成29年 4月 1日 (平成14年4月1日)	滝 敏美	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	伊藤 昇	畑	1年	無償	自動更新
平成14年 4月 1日	森 博一	畑	1年	無償	自動更新

6. 寄付金に関する事項

令和6年3月31日現在

寄付の目的	寄付者（敬称略）	件数 件	金額 円
法人本部	匿名	1件	1,733円
	ときわ会後援会	1件	95,546円
	匿名	1件	10,000円
	匿名	1件	20,000,000円
	小 計	4件	20,107,279円
ふじの木園	稲山久男	1件	100,000円
	ふじの木園保護者会	1件	104,000円
	丹羽きよみ	1件	50,000円
	小 計	3件	254,000円
ときわ作業所	長谷川豊	11件	131,000円
	馬場義次	1件	100,000円
	小 計	12件	231,000円
合 計		19件	20,592,279円

7. 資産（土地・建物）の状況

令和6年3月31日現在

科目	所在地	地目又は構造	面積		用途	担保提供の状況			抵当権設定 年月日	
			定款	登記簿		提供の有無	提供先	所轄庁の 承認の有無		
基本財産			㎡	㎡						
1 土地	江南市後飛保町高瀬69番	宅地	926.08	926.08		無				
	江南市後飛保町高瀬68番	宅地	260.00	260.00		無				
	江南市河野御五十間115番	宅地	962.00	962.0		無				
	江南市後飛保町高瀬67番1	雑種地	35	35		無				
	江南市後飛保町高瀬67番2	雑種地	57	57		無				
	江南市後飛保町高瀬67番3	雑種地	50	50		無				
	江南市後飛保町高瀬67番4	雑種地	75	75		無				
	江南市後飛保町高瀬67番5	雑種地	31	31		無				
	江南市後飛保町高瀬54番	雑種地	194	194		無				
	江南市後飛保町高瀬55番	雑種地	302	302		無				
	江南市河野御五十間87番	雑種地	321	321		無				
	江南市宮田神明町旭190番	畑	365	365		無				
	2 建物	江南市後飛保町高瀬69番地	鉄筋コンクリート造 陸屋根2階建	900.32	900.32	ときわ作業所	無			
		江南市後飛保町高瀬68番地	鉄筋コンクリート造 4階建	2,112.51	2,112.51	ふじの木園	無			
江南市河野御五十間88番地										
江南市河野御五十間115番地		木造平屋建	257.35	257.35	ときわホーム	無				

8. 理事会開催状況

開催年月日	議 題	監事出席
令和5年 5月30日	議案第1号 理事候補者の選出 議案第2号 監事候補者の選出 議案第3号 経理規程の一部改正 議案第4号 指定障害者支援施設ふじの木園運営規程の一部改正 議案第5号 指定短期入所事業所ふじの木園運営規程の一部改正 議案第6号 指定生活介護事業所ときわ作業所運営規程の一部改正 議案第7号 令和4年度「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業報告 議案第8号 令和4年度社会福祉事業区分収支決算 議案第9号 評議員会の招集事項	有
令和5年 6月15日	議案第10号 理事長の選定 議案第11号 第三者委員の選任	有
令和5年 7月27日	議案第12号 指定障害者支援施設ふじの木園運営規程の一部改正 議案第13号 指定短期入所事業所ふじの木園運営規程の一部改正	有
令和6年 3月14日	議案第14号 理事候補者の選出 議案第15号 役員等の賠償責任保険の契約及び内容 議案第16号 職員給与等支給規程の一部改正 議案第17号 契約職員雇用規程の一部改正 議案第18号 指定障害者支援施設ふじの木園運営規程の一部改正 議案第19号 指定短期入所事業所ふじの木園運営規程の一部改正 議案第20号 指定特定相談支援事業所ふじの木園運営規程の一部改正 議案第21号 指定生活介護事業所ときわ作業所運営規程の一部改正 議案第22号 指定共同生活援助（介護サービス包括型）事業所ときわホーム運営規程の一部改正 議案第23号 令和5年度社会福祉事業区分第1次資金収支補正予算 議案第24号 令和6年度「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業計画（案） 議案第25号 令和6年度社会福祉事業区分資金収支予算（案） 議案第26号 評議員会の招集事項	有

9. 評議員会開催状況

開催年月日	議 題	監事出席
令和5年 6月15日	議案第1号 理事の選任 議案第2号 監事の選任 議案第3号 令和4年度「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業報告 議案第4号 令和4年度社会福祉事業区分収支決算	有
令和6年 3月22日	議案第5号 理事の選任 議案第6号 令和5年度社会福祉事業区分第1次資金収支補正予算 議案第7号 令和6年度「本部」・「ふじの木園（支援施設）」・「ふじの木園（相談事業）」・「ときわ作業所」・「ときわホーム」・「小規模授産施設」・「あゆみ」の事業計画（案） 議案第8号 令和6年度福祉事業区分資金収支予算（案）	有

10. 監事の監査状況

監査年月日	監査氏名	監査における指示・指摘事項	備考
令和5年 5月19日	青山 透 石川勇男	令和4年度において、事業全般に渡り適正に運営され、経理面においても適正に処理されていることを認める	

11. 法人運営会議の開催

委員長：三ツ口和男（評議員）

委員：中西和子（評議員） 武田篤司（評議員） 滝正直（理事） 佐藤和弥（ときわ作業所施設長） 本間浩平（ふじの木園施設長）

事務局：林宏和（事業主幹） 長縄健（事業主幹） 大川内誠（事業主幹）

開催年月日	主 な 内 容	備考
令和5年 4月26日	・業者指名審査（給食提供業務委託業者の選定）	
令和5年 5月24日	・5月、6月理事会 ・6月定時評議員会	
令和5年 7月20日	・障害者支援施設ふじの木園の定員の変更 ・新規グループホーム整備計画の凍結 ・7月理事会	
令和5年 11月13日	・業者指名審査（給食提供業務委託の入札業者の選定） ・ときわ作業所・江南市心身障害者小規模授産施設のサービス提供時間の変更 ・令和5年度愛知県実地指導（ふじの木園・ときわホーム）の結果の報告	
令和6年 2月6日	・令和6年度事業計画及び予算骨子 ・3月理事会、臨時評議員会の予定議案 ・職員の確保定着・処遇改善 ・給食提供業務委託契約に係る入札結果の報告	

令和6年 3月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・3月理事会 ・3月臨時評議員会 ・職員全員会議 ・4月～6月会議等の予定議案及び日程調整 ・令和6年度職員体制 	
--------------	--	--

12. 法人事務局会議の開催

委員長：佐藤和弥（事務局長）

委員：本間浩平（事務局次長） 林宏和（事業主幹） 長縄健（事業主幹）
大川内誠（事業主幹）

開催年月日	主 な 内 容	備考
令和5年 4月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 ・法人運営会議（業者指名審査）給食提供業務委託業者の選定 	
令和5年 5月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・5月法人監査 事業報告・決算 ・5月法人運営会議 	
令和5年 8月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・中期計画の令和5年度の取り組み 	
令和5年 11月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉サービス事業者等実地指導の改善指示事項の回答（ふじの木園施設・ときわホーム） 	
令和5年 12月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度職員配置 ・研修報告（改正障害者差別解消法） ・次年度ときわバザー及び地域福祉施設合同秋祭りの開催日程・方法 	
令和6年 1月19日	<ul style="list-style-type: none"> ・2月法人運営会議 ・令和6年度職員配置（人員配置根拠） 	
令和6年 2月22日	<ul style="list-style-type: none"> ・3月法人運営会議 ・令和6年度職員配置（人員配置根拠） ・3月職員全体会議 	

13. 法人連絡調整会議の開催（グループリーダーはGL表記）

委員長：大川内誠（指導主幹） 副委員長：丹羽章（指導GL）

委員：大脇文久（支援GL） 安田大輔（支援GL） 櫻井洋輝（相談GL）
松田陽介（支援GL） 村上久美（支援GL） 澤田安代（支援GL）
池永祐大（支援GL）

総 括：林宏和（支援主幹） 長縄健（支援主幹）

開催年月日	主 な 内 容	備考
令和5年 4月5日	<ul style="list-style-type: none"> ・事業報告及び決算 	
令和5年 5月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・理事会、定時評議員会議案 	
令和5年 6月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・第43回ときわバザー ・交流会 	
令和5年 8月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・第43回ときわバザー 	

令和5年 10月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・第43回ときわバザー ・交流会(今年も1年頑張りましょう会) ・令和5年度中期計画上半期達成状況 ・インフルエンザ予防接種 	
令和5年 12月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業計画・予算骨子及び年間カレンダー作成 	
令和6年 1月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業計画・予算骨子及び年間カレンダー作成 	
令和6年 2月16日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度事業計画・予算骨子及び年間カレンダー作成 	

14. 事務職会議の開催

委員長：本間浩平（事務局次長）

委員：三浦里夏（事務員） 藪下卓也（事務員） 木村拓磨（事務員）
中村みゆき（事務員）

4月5日、5月9日、12月7日、1月10日に連絡調整会議と合同で開催し、決算や予算作成時の留意点や進捗状況、予定の確認等を行った。

15. 虐待防止委員会の開催（年2回以上開催）

委員長：佐藤和弥（事務局長） 副委員長：本間浩平（事務局次長）

委員：林宏和（事業主幹） 長縄健（事業主幹） 大川内誠（事業主幹）

【委員会の開催状況】

開催年月日	主な内容
令和5年 4月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内での虐待案件、身体拘束案件の報告 虐待案件 法人内で虐待の案件はないことを確認した。 身体拘束案件（令和4年度下半期の各施設適正化委員会実施分） ふじの木園 対象者11名（男性4名、女性7名） ※対象者1名減、種別終了2件、新たな種別開始2件あったことを確認した。 ときわ作業所・ときわホーム・小規模授産施設 対象者なし あゆみ 対象者7名（男性5名、女性2名） ※対象者、拘束種別に変更はないことを確認した。
令和5年 8月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内での虐待案件、身体拘束案件の報告 虐待案件 法人内で虐待の案件はないことを確認した。 身体拘束案件 身体拘束についても大きな変化はないことを確認した。
令和5年 12月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・法人内での虐待案件、身体拘束案件の報告 虐待案件 法人内で虐待の案件はないことを確認した。 身体拘束案件（令和5年度上半期の各施設適正化委員会実施分）

	<p>身体拘束についても大きな変わりはないことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度虐待防止内部研修 療育支援事業の動画研修を活用することを確認した。 ・ 虐待防止チェックリストの実施について 各施設、事業所にて、虐待チェックリストを実施するよう確認した。
--	--

【研修開催状況】

1回目	実施期間	令和5年11月～令和6年1月までに各施設・事業所で実施
	職員	全職員
	内容	動画研修「支援について考える」他
2回目	実施期間	令和5年12月～令和6年3月までに各施設・事業所で実施
	職員	全職員
	内容	虐待防止チェックリストの実施

16. 中期計画の令和5年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

ア 平成30年度に位置付けられた法人の諸課題

- ・ 新規グループホームの整備
調査・研究を重ねた結果、他の法人の諸課題を優先に取り組む必要があるため、具体的な目途が立つまでの間、整備計画を凍結し法人の相談支援事業を介した他法人のグループホーム等への入居や短期入所、施設入所の活用等を新規グループホームの整備に捉われない支援として、当面の間行うこととした。
- ・ ふじの木園定員の見直し
利用者の心身の状況に伴い、7月に他施設へ2名の移行があり、8月1日より定員を50名から40名に変更した。
- ・ ときわ作業所の大規模修繕
改修方法について、指定管理事業の小規模授産施設とあゆみの動向を見据えた中で、生活介護事業の運営方法を含めた調査を継続して行った。
- ・ ふじの木園の全居室個室化
部屋割りの調査・研究を行う中で、心身の状況と感染症発症時を意識した部屋割りを行った。定員変更により1人部屋が増えたことで、感染拡大の防止に加え、トラブルが減り利用者の精神安定につなげることができた。
- イ あゆみ・小規模授産施設の第5期指定管理契約について
今後の指定管理事業について江南市と協議を行い、令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間を第5期指定管理契約として締結した。

(2) 職員の確保定着・処遇改善

処遇改善・特定処遇改善・ベースアップ加算の算定を継続し、職員の確保定着と処遇改善を継続して行った。また、法人全体の人件費率の適正化と社会保険の適用拡大（令和6年10月）への対応を目的に、職員数と雇用形態の管理を行った。

(3) その他

ア 第7期（令和6年度～令和8年度）江南市障害福祉計画への要望

江南市へ法人の諸課題の取り組みについて相談・報告を行い、指定管理事業の動向について、江南市担当者との協議を継続した。

イ 研修計画

利用者支援と職員の資質向上を目的に、法人全体の研修計画を策定し計画的な受講に努めた。

[主な研修結果]

職位：愛知県障害者虐待防止・権利擁護研修（新規入職者向け）1名

専門：相談支援従事者初任者研修 1名

喀痰吸引等研修 1名 など

ウ 法人本部・各施設・事業所の中期計画の検証

法人本部・各施設・事業所の達成度や実施状況等を検証し、次年度の事業計画に反映した。

令和5年度 ふじの木園（支援施設） 事業報告書（案）

1 ふじの木園の運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 指定障害者支援施設（施設入所支援・生活介護事業）
 施設名 ふじの木園
 所在地 江南市河野町五十間88番地
 事業内容と定員 障害者支援施設
 (1) 施設入所支援 40名
 (2) 生活介護 40名
 (3) 短期入所 5名（随時）
 対象者 障害支援区分4以上（50歳以上は区分3以上）である者
 職員等 [職員]・常勤24名・非常勤10名 計34名
 [他]・嘱託医（内科）1名
 ・講師（音楽療法・軽運動・機能訓練）4名計5名

職員 (単位：人)

	施設長	サービス管理 責任者	事務員	支援員		
				支援 主任	グループ リーダー	支援員
男	※1	1	1	0	1	6
女	0	0	1	0	2	8 (10)
合計	1	1	2	17 (10)		

	看護師	栄養士	合計
男	0	0	10
女	2	1	14 (10)
合計	2	1	24 (10)

()内は非常勤職員数、別掲
 ※は特定相談支援事業所施設長を兼務

2 事業総括

障害者支援施設

(1) 施設入所支援・(2) 生活介護

施設入所支援は、夜間及び休日において、入浴や排せつ、食事等の支援を行った。

令和5年5月、コロナ感染症の位置付けが2類から5類へ引き下げられた以降も、感染力や重症化リスクが弱まる訳ではないことを念頭に、手洗いや換気等の基本的な感染対策と、職員の業務中のマスクの着用や体調チェックを継続している。また、入所施設という観点から、帰省や外出の自粛等の対応を行ってきた中で、家族との面会や帰省の再開等の緩和も開始した。令和5年8月に男性利用者7人にコロナ感染症の発症があったが、感染経路を遮断するための居室変更や感染対応を強化したことで、施設全体への感染拡大を防ぐことができた。

生活介護は、平日の日中において、施設入所支援同様の支援に加え、生産活動や軽運動や音楽療法、クラブ活動等の創作的活動に取り組んだ。コロナ禍以降の新たな生活様式を模索し、日課や活動内容を見直し、少人数制での班活動や軽運動、音楽療法等を実施した。また、身体機能の維持や低下を防ぐことを目的に理学療法士による機能訓練を開始した。講師の作成した個別プログラムを余暇時間等に取り組むことができた。

また、入浴回数を週5回から4回に減らしたことにより、個別プログラムの頻度の増や、重度者や高齢者を対象にリフト浴の試行を開始する等、入浴支援の充実にもつなげることができた。

利用者数は、身体障害者支援施設や共生型有料ホームへの移行が2名あり、40名となったため、令和5年8月に定員を50名から40名へ変更した。

身体障害者支援施設等への移行や長期入院、感染対策の緩和による帰省の再開のため年間を通しての利用延べ人数、1日当たり平均利用人数ともに減少した。

利用料収入は、昨年度より6,878,181円、率では3.2%の増収となった。

(3) 短期入所

6月より感染対策の緩和に伴い、男女各1名/1日ずつの通常利用を再開した。また、家庭の事情等による急な利用に対しては、相談支援事業者との連携により、円滑なサービスを提供することができた。

地域生活支援拠点事業は、江南市の拠点事業で定義する緊急の受け入れはなかった。

短期入所の利用率は感染対策の緩和に伴い、利用件数が大幅に増加し、昨年度より1,789,013円、率では570.8%の増収となった。

事業内容

1 生産活動

活動班	大河班（自主作業） ・手芸製品製作 利用者13名（男性7名・女性6名）
	大海班（自主作業・生活動作訓練） ・手芸製品製作・施設内外の環境整備等 利用者14名（男性7名・女性7名）
	太陽班（生活動作訓練） ・個別機能訓練・身体ケア・音楽療法・指先と頭の体操・スヌーズレン 利用者13名（男性5名・女性8名）

2 創作的活動

療育活動	音楽療法	年間22回実施
	軽運動	年間22回実施
	機能訓練	年間30回実施
クラブ活動	みるクラブ つくるクラブ えらべるクラブ	年間12回実施

3 その他の活動

個別支援	生活相談	年間12回実施
余暇活動	施設外活動	年間8回実施
	休日余暇活動	年間4回実施
	喫茶外出活動	年間23回実施
	月例会（敬老会を含む）	年間12回実施
	季節行事	年間6回実施
合同行事	第43回ときわバザー（縮小開催）	10月28日実施
	交流会	中止
その他	地域・福祉施設合同秋まつり	中止

※交流会の代替行事として「今年も一年頑張りましょう会」を実施（1月18日）

4 医療支援

平時から体温チェックや健康管理を行い、マスク、手洗いの基本的な感染対策に加えて定期的な換気を実施、感染管理を徹底した。発熱者は嘱託医の指示を受けCOVID検査を実施し早期発見に努めた。令和5年8月は複数の発症者への対応として、陽性者の居室隔離、嘱託医との連携を図り対応に努めた。過去の発生時の経験を活かして行動したことで、施設全体への感染拡大を防ぐことができた。

健康診断、歯科健診の結果に対応して医療機関への受診につなげ、回診を通じてフォローできた。

健康診断を2部制（午前、午後）、ポータブルレントゲンで行い、時間に余裕ができ、各検査の対応がスムーズになった。

手洗い講習は看護師と栄養士による講習会を行い、感染対策として基本である手洗いの大切さを伝えることができた。講習後も手洗いを見守り、助言することで感染予防に努めた。

[回診・その他の取り組み]

- | | | |
|------------------|------------|--------------------|
| ・内科回診 | 12回実施 | 藤原誠治医師（嘱託医 藤原医院院長） |
| ・歯科健診 | 6月29日 | 尾北歯科医師会（県事業） |
| ・健康診断① | 7月21日 | 名古屋公衆医学研究所 |
| ・インフルエンザ予防接種 | [2回に分けて実施] | |
| | 11月7日、14日 | 藤原医師 |
| ・新型コロナウイルスワクチン接種 | [2回に分けて実施] | |
| | 6月13日、20日 | 藤原医師 |
| ・手洗い講習 | 11月6日 | 施設看護師・施設栄養士 |
| ・健康診断② | 2月13日 | 藤原医師 |
| ・体重測定 | 年12回実施 | |
| ・血圧測定 | 年12回実施 | |

5 給食支援

食材費の高騰が続くため、食材の変更や献立内容の工夫に加えて、食事とおやつを切り離すことで、限られた食費の中で栄養バランスの取れた食事提供の維持に努めることができた。

食種と刻み食の見直しを行い、必要な支援の提供につなげることができた。

非常用備蓄品の入れ替え（3年計画）の第3回分の購入を行い、9食分（3食×3日間）を全て整えることができた。ライフライン停止に対応できるよう開封したらそのまま食べられるものを準備した。また、非常用飲料水の入替えも行った。災害時での配付と飲みやすさを考慮し、2ℓのものとは500mlのものを購入した。

利用者の重度化、高齢化に伴う嚥下力の低下等に対応するため、利用者に対して施設職員と委託業者で試行錯誤を重ね、ソフト食を導入した。

給食委託業者の契約変更による食器の入れ替えと非常食の購入について、それぞれ3年計画の第3回目を実施した。

[主な取り組み]

- | | |
|---------------|--------------------------------|
| ・行事食 | その都度（7月うなぎ丼、2月恵方巻き等） |
| ・セレクトメニュー | 毎月1回（鶏肉のゆかり焼き 又は 魚のカレー風味煮の選択等） |
| ・誕生者リクエストメニュー | 誕生日（誕生者が希望した一品） |
| ・季節のおすすめ献立 | 毎月1回（若竹ごはん、さつま芋サラダ等） |

6 地域移行への支援

感染対策を継続して行う中で、施設生活から地域生活への移行の長期的な取り組みとして、「～へ外出に行きたい」等の利用者からの希望を勘案し、近隣の飲食店やショッピングモール等のテイクアウト等を活用することで、地域社会との関りを持つことができた。

7 ときわホームへのバックアップ

夜間や休日等における医療や災害等でときわホームの利用者に緊急の対応が必要となった際の協力施設としての役割に備えた。

また、希望者に対して、ふじの木園を会場として、6月に新型コロナワクチン接種、11月にはインフルエンザ予防接種を実施した。

令和5年度 緊急対応 0件

8 防犯対策

神奈川県相模原市で起きた障害者施設での殺傷事件（平成28年7月26日）以降、防犯対策を強化するため以下の取り組みを行った。

[主な内容]

- ・防犯訓練の実施 11月17日 江南警察署生活安全課
- ・来園者受付簿の実施
- ・防犯カメラ・記録システム設置後の点検

9 中期計画の令和5年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

ア 利用者定員の見直し（40名定員）

利用者の状況に応じた移行支援を行った結果、令和5年8月に定員を50名から40名に変更した。

部屋割りの調査・研究については、心身の状況と感染症発症時を意識した部屋割りを行った。定員変更により1人部屋が増えたことで、感染拡大の防止に加え、トラブルが減り利用者の精神安定につなげることができた。

(2) 利用者サービスの向上

ア 個人を尊重した個別支援（重度化・高齢化に対する支援）

コロナ禍以降の新たな生活様式について、障害の程度や年齢等を考慮し、活動内容の見直しを行い、班活動については前年度と比較して大幅に実施回数を増やすことができた。

入浴回数を見直し、高齢者や重度者を対象にリフト浴の試行を開始し、入浴支援の充実につなげることができた。また、機能訓練の個別プログラムや散歩等の運動、個々の趣味等に取り組む時間を増やすことができた。

イ 職員のスキルアップ

法人共通の研修計画に基づき、外部研修の受講や、内部研修を実施し、その後の支援に役立てることができた。

[主な外部研修]

6月13日 愛知県虐待防止・権利擁護研修（支援員1名）

7月25日 障害者支援施設部会医療従事者研修（看護GL1名）

- 9月25日 あいかんグループオンライン勉強会 (支援GL1名)
- 9月26日 障害者支援施設部会栄養士会研修 (栄養主任1名)
- 11月16日 専門人材の確保・養成研修 (支援GL1名、支援員1名)
- 11月30日 障害者支援部会サービス管理責任者研修 (支援主幹1名)

[主な内部研修]

- 4月～6月 フレッシュ職員ノート (新規職員内部研修)
- 12月18日～1月14日 虐待防止内部研修 (全体)
- 3月 1日 救急講習

支援員会議は、定期開催以外にも、男女各フロアで臨時で開催し、支援員同士、また他職種との連携を深め、重度化・高齢化に対応した支援を心がけた。

(3) 設備ハード面の充実

利用者の重度化、高齢化に対応するため、給食で使用するスプーンをユニバーサルデザインのタイプに変更した。居室エアコンや扉、トイレ、浴室の設備の故障等に関しては、利用者が安心安全に過ごせるよう優先順位を決めながら修繕や入替等の対応を行った。

生産活動報告

1 大河班

[手芸製品製作] 自主作業

令和5年度は活動回数を増やし、小牧法人会にて施設製品(クッション小200個)の販売、大口町へ施設製品(クッション小80個)の納品を行った。その他、藤まつり、ふくし江南ふれあいまつり、ときわバザー、JAまつりで施設製品の販売を行った。

クッション等、分担された作業内容を各利用者がしっかりと行うことができた。また、適宜散歩を取り入れ気分転換を図ることもできた。班活動が実施できない場合は特別班を実施した。

実施回数: 12回 特別班実施回数: 9回

2 大海班

[手芸製品製作] 自主作業

大河班と協力して施設製品制作に取り組むことができた。また、各バザーでの販売再開により、班活動以外の時間にも製品作りに取り組んだ。分担された作業内容を各利用者がしっかりと行うことができ、適宜散歩等を取り入れ気分転換を図ることができた。班活動が実施できない場合は特別班を実施した。

実施回数: 12回 特別班実施回数: 8回

[生活動作訓練] 個別機能訓練、施設周辺の清掃活動

個別機能訓練についてはペグボードを使用し指先の機能維持を中心に行った。天気の良い日には中庭へ出て、ボールを使用した運動や施設周辺の散歩に取り組んだ。理学療法士から個別に受けた指導内容の実践にも積極的に取り組むことができた。

施設周辺の清掃活動については普段の散歩コースを中心に、施設周辺のゴミ拾いを行った。

3 太陽班

[生活動作訓練] 個別機能訓練、身体ケア、音楽療法、指先と頭の体操、スヌーズレン音楽をかけての活動や、散歩により気分転換を図ることで精神安定につなげることができた。

室内でテントを張り、感覚刺激空間(スヌーズレン)を実施。テント内(暗室)でくつろげる空間を提供した。テントへ入ることができると寝転んで目を閉じたり、音楽を聴いて歌を歌う等、それぞれリラックスして過ごすことができた。

実施回数: 22回

創作的活動報告

1 療育活動

①音楽療法

感染対策の緩和に伴い、講師を招いての活動を再開した。利用者の歌唱、楽器の共用はせずに実施。講師が歌詞を朗読、歌う代わりに手拍子や各々楽器を鳴らしてリズムを取った。

年間22回実施

[行事での発表曲] 令和5年度の発表はなし。

②軽運動

感染対策の緩和に伴い、講師を招いての活動を再開した。メインのボッチャの他、ボッチャの上達につながるゲームとしての的当て、フリスビーなど飽きがこないよう定期的に内容を変えて取り組んだ。

年間18回実施

[主な活動]

- ・レクリエーション(ボッチャ、輪投げ、的当て、玉入れ、フリスビー)
- ・ボッチャふじの木カップ
- ・知的障がい者理解促進スポーツ教室…実施なし。

[大会結果]

- ・愛知県障害者スポーツ大会、愛知県ボッチャ競技大会…不参加。

③機能訓練

作業、理学療法士が作成したプログラムに沿って、嚥下・発語訓練や棒体操、セラバンドを使用した運動を職員が声をかけながら、利用者主体で取り組んだ。

月に1回、講師を招いた訓練を開始し、参加者個別のプログラムを作成した。

運動を行うことで、身体機能の維持や筋力向上につなげた。

参加者13名 年間30回実施 ※うち講師による訓練は8回。

[主なグループ運動]

- ・摂食・嚥下機能訓練(首や口の動き・発声練習)
- ・準備運動(上下肢・肩関節・股関節の運動等)
- ・筋力トレーニング(棒を使った運動)

[主な個別プログラム支援]

- ・体重減少目的とした体幹の回旋、段差昇降

- ・体幹安定性向上を目的とした足踏み及び歩行運動
- ・関節可動域の維持向上を目的とした運動

2 クラブ活動

①みるクラブ

隔月で男女に分かれてDVD鑑賞を行った。DVDの内容は利用者のリクエストを聞き、見やすさ・楽しさを考慮した作品を選んで鑑賞した。ゆっくりDVD鑑賞を楽しむことで気分転換等につなげることができた。

年間12回実施

○鑑賞した作品

くまのプーさん、ドラえもん、日本昔話、借りぐらしのアリエッティ 等

②つくるクラブ

隔月で男女に分かれて行った。行事の写真等をB紙に飾り付けたり、季節の絵を描いたカレンダーを作成し利用者のみなさんの誕生日やスケジュール等を書き込み1階の掲示板や地域スペースに掲示し、来園者にも見てもらうことができた。

年間12回実施

○作製した作品

掲示物（施設内行事の写真や季節の飾り等）、カレンダー作成等

③えらべるクラブ

利用者が選択した活動内容を月替わりで取り組む形式のクラブ活動を行った。

実施月	活動内容	実施月	活動内容
4	公園散策	10	公園散策
5	公園散策	11	タイルアート
6	紙すき	12	タイルアート
7	紙すき	1	タイルアート
8	紙すき	2	タイルアート
9	公園散策	3	公園散策

紙すきで作ったハガキやタイルでデコレーションしたクリップは、本のしおりにしたり、自身の居室や家に持ち帰って飾るなど、楽しい思い出となった。

公園散策は、気候の良い時期に施設周辺やフラワーパーク等の散策を行った。戸外を散歩し、気分転換を図り、木々や草花を見ながら季節を感じる機会となった。

年間12回開催

その他の活動報告

1 個別支援

生活相談

希望者を対象に施設生活の中で感じていることや不安に思っているについて、言葉や表情から気持ちや希望等を汲み取ることができ、職員の共通認識として支援に活かすことができた。また、希望者がいない時は、職員で生活相談が必要と判断した利用

者を抽出し、個別での散歩やジュース購入、職員との談話で気分転換を図り、悩みや困り事を傾聴する良い機会となった。

年間12回実施（利用者12名）

[主な相談内容]

施設での生活や友達との関係、運動やジュース購入等の気分転換 等

2 余暇活動

①施設外活動

感染対策のため施設外での食事は控えたものの、感染対策の緩和に伴いショッピングモールへ昼食やおやつを買い出しに行くなど外出する機会が増えた。また、自分の食べたいメニューを利用者自身が選び購入することができた。

障害の状況や年齢でグループを分けたことで、ゆっくり過ごすグループ、活動的なグループと1人1人に合った活動にすることができた。

年間8回実施

[テイクアウトを行った主な店舗]

さぼてん、ほっともっと 等

②休日余暇活動

休日の余暇時間を利用し、運動などに取り組んだ。また、それ以外の月には、散歩や日光浴、塗り絵、DVD鑑賞、行事の掲示物作成や飾り付け等を行い、余暇の充実を図ることができた。

年間4回実施

[施設内での取り組み]

家族へ手紙を書きポストへ投函、フライングディスク、ボッチャの練習 等

③喫茶外出活動

感染対策の緩和に伴い、マスクの着用が可能な利用者の商業施設への外出を7月より再開した。店舗での飲食は控え、テイクアウトを利用し施設内で実施した。当日の気分商品見ておやつを選ぶことや外出等で気分転換を図ることができた。

年間23回実施

[テイクアウトを行った主な店舗]

ミスタードーナツ、マクドナルド 等

④月例会・敬老会

月例会では、その月ごとの行事や誕生者の紹介などをお知らせした。

看護師からは季節ごとの健康に関するお話し、栄養士からは旬の食材や栄養素の話聞くことで、季節の移りかわりを感じることができた。

誕生者のお祝いとして、月例会で紹介し、後日のクラブ活動時にプレゼントとケーキを食べて祝福した。

敬老会では、今年度60歳を迎える方はいなかったが、60歳以上の利用者を対象として、担当支援員からお手紙を渡し長寿のお祝いをした。

年間12回実施（内9月は敬老会）

⑤季節行事

・これからもよろしくね会（令和5年4月13日）

感染予防のため保護者の同席は見合わせた。3年ぶりに利用者全員で音楽療法講

師2名を招き行った。新規職員の紹介や会食、音楽療法講師による演奏の発表（2曲）を行い、楽しい時間となった。

・七夕祭り(令和5年7月3日)

感染予防のため各フロアで行った。事前に紙コップで男性は彦星、女性は織姫の作成を楽しんだ。当日は七夕の歌をBGMとして流し、好きな色の短冊に願い事を書き、彦星、織姫に貼って飾り付けた。利用者に願い事を発表してもらい、作品は後日1階へ掲示し楽しむことができた。

・クリスマス会(令和5年12月25日)

事前に利用者がクリスマスツリーや製作物の飾りつけを行い、クリスマスの雰囲気を感じることができた。各フロアでの活動となったが、楽しみにしていたクリスマス会でサンタクロースに扮した施設長からプレゼントを手渡され、日常生活の励みとなった。プレゼントは、可能な限り利用者の希望に沿える形で準備した。

・ふじの木園のお正月(令和6年1月5日)

感染予防のため、帰省や外出を自粛する中で、園での年末年始を楽しめるように、絵馬やおみくじ、羽根つき、近隣神社への初詣を行うことで、季節を感じることができた。また、おやつに干支の絵のついたどら焼きを食べ、新たな気持ちで一年のスタートをきるような行事となった。

・節分祭り(令和6年2月2日)

感染予防のため、各フロアに分かれて行った。豆まきは、新聞紙を丸めたものを使用し、職員が扮する鬼に向かって投げ邪気を追い払った。また昼食に恵方巻が提供され季節を感じることができた。

・ひな祭り(令和6年3月1日)

千代紙を使用し、事前に制作した利用者の顔写真付きのお内裏様とお雛様を、模造紙に描いたひな壇に貼り付けて飾り、地域スペースへ掲示し、保護者や来客に見てもらうことができた。また2月末から地域スペースにひな人形を飾ることで、ひな祭りに向けて雰囲気を出すことができた。

3 合同行事

① 第43回ときわバザー(令和5年10月28日)

通常より規模を縮小し、近隣の住民の方々などを対象に来場していただく形で4年ぶりに実施した。ふじの木園会場とニコット会場に分けて、法人内各施設と保護者の製品販売、ゲームコーナー、ワークショップ、キッチンカーによる販売を行った。ゲームコーナーとワークショップでは、利用者が接客に携わり来客者と交流を図ることができた。

② 交流会(令和6年1月18日)

感染予防のため代替行事として「今年も一年頑張りましょう会」を事業所毎で実施した。新成人の紹介、職員顕彰や音楽療法講師による演奏のDVD鑑賞を行うことで、従来の交流会に近づいた内容となり、皆で楽しむことができた。

4 その他

地域・福祉施設合同秋まつり

感染予防のため中止。

令和5年度 ふじの木園行事等報告

月 日	行 事 等	月 日	他団体協力バザー
4.13	これからもよろしくね会	4.21 ～4.27	藤まつり
6.13, 20	県障害者スポーツ大会 (中止) (豊田市運動公園)		
6.29	新型コロナワクチン1回目		
7.3	歯科健診		
7.21	七夕祭り		
9.4	健康診断 (移動検診車)		
9.23	敬老会		古知野高校文化祭 (参加中止)
9.23	地域・福祉施設合同秋まつり (中止)		
10.28	第43回ときわバザー	10.8	ふくし江南ふれあい まつり
11.6	手洗い講習	11.4, 5	こうなん産業フェスタ
11.7	インフルエンザ予防接種①		
11.14	インフルエンザ予防接種② 愛知県ポッチャ競技大会 (大会不参加)		
12.13, 20	新型コロナワクチン2回目	12.2, 3	JAまつりバザー
12.25	クリスマス会		
1.5	ふじの木園のお正月		
1.18	交流会 (中止) 今年も一年頑張りましょう会 (交流会代替行事)		
1.29	水防避難訓練		
2.2	節分祭り		
2.13	利用者健康診断		
3.1	ひな祭り		
3.18	消防署立ち合い避難訓練		
3.26	ボッチャふじの木カップ		
その他		施設実習等	
	月例会(敬老会含む)	年間12回実施	(介護実習)
	クラブ活動	年間12回実施	愛知県立古知野高校 10名
	保護者会	年間12回実施	7月24日～7月27日
	避難訓練	年間12回実施	7月31日～8月3日
	体重測定	年間12回実施	
	血压測定	年間12回実施	
	施設外活動	年間8回実施	
	休日余暇活動	年間4回実施	
	喫茶外出活動	年間23回実施	
	音楽療法	年間22回実施	
	軽運動	年間22回実施	
	機能訓練	年間30回実施	
	生活相談	年間12回実施	

障害者支援施設（生活介護・施設入所支援）の状況

1 契約状況（市町村別）

令和6年3月31日現在

市町村名	性別		合計	入所前の状況			
	男	女		入所施設	通所施設	在宅	入院
江南市	13人	19人	32人	0人	24人	6人	2人
一宮市	1	0	1	0	1	0	0
岩倉市	0	0	0	0	0	0	0
小牧市	0	1	1	0	0	1	0
犬山市	1	0	1	0	0	1	0
名古屋市	0	0	0	0	0	0	0
北名古屋市	0	1	1	0	0	1	0
清須市	1	0	1	0	1	0	0
大口町	1	0	1	0	1	0	0
扶桑町	2	0	2	0	2	0	0
合計	19	21	40	0	29	9	2

2 障害支援区分別

令和6年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	1人	5人	2人	11人	19人
女	0	1	0	6	5	9	21
合計	0	1	1	11	7	20	40

3 年齢別

令和6年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	0人	0人	4人	12人	3人	19人	53.9歳
女	0	0	0	2	6	8	5	21	51.7
合計	0	0	0	2	10	20	8	40	52.8

4 月別利用状況

(1) 生活介護（月～金曜日及び施設長が定めた日の9:00～17:00）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	838人	885人	824人	844人	796人	804人
稼働日数	22日	23日	22日	23日	23日	22日
1日当たり 平均利用人数	38.1人	38.5人	37.5人	36.7人	34.6人	36.5人
契約人数	41人	41人	41人	41人	39人	40人
利用率	92.9%	93.8%	91.4%	89.5%	88.7%	91.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	853人	851人	879人	910人	809人	854人	10,147人	846人
稼働日数	23日	22日	23日	23日	21日	23日	270日	22.5日
1日当たり 平均利用人数	37.1人	38.7人	38.2人	39.6人	38.5人	37.1人		37.6人
契約人数	40人	40人	40人	40人	40人	40人	483人	40.3人
利用率	92.7%	96.7%	95.5%	98.9%	96.3%	92.8%		93.4%

利用率 定員50人(令和5年8月より定員40人) に対し、1日平均利用人数37.6人 利用率93.4%
 年間延べ10,147人が利用
 年間稼働日数 270日

(2) 施設入所支援（夜間及び休日等）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	1,140人	1,190人	1,123人	1,141人	1,073人	1,091人
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日
1日当たり 平均利用人数	38.0人	38.4人	37.4人	36.8人	34.6人	36.4人
契約人数	41人	41人	41人	41人	39人	40人
利用率	92.7%	93.6%	91.3%	89.8%	88.8%	90.9%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	1,147人	1,160人	1,172人	1,180人	1,119人	1,149人	13,685人	1,140人
稼働日数	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日	30.5日
1日当たり 平均利用人数	37.0人	38.7人	37.8人	38.1人	38.6人	37.1人		37.4人
契約人数	40人	40人	40人	40人	40人	40人	483人	40.3人
利用率	92.5%	96.7%	94.5%	95.2%	96.5%	92.7%		92.9%

利用率 定員50人(令和5年8月より定員40人) に対し、1日平均利用人数37.4人 利用率92.9%
 年間延べ13,685人が利用
 年間稼働日数 366日

5 利用料収入の前年度比較

(1) 施設本体

	生活介護	施設入所支援	特定障害者特別給付費	特定費用等	合計
令和5年度	127,556,878円	66,973,342円	4,636,848円	19,459,392円	218,626,460円
令和4年度	133,134,893円	52,580,686円	4,869,244円	21,163,456円	211,748,279円
差 引	-5,578,015円	14,392,656円	-232,396円	-1,704,064円	6,878,181円
前年比	95.8%	127.4%	95.2%	91.9%	103.2%

(2) 短期入所

	短期入所	合計
令和5年度	2,102,453円	2,102,453円
令和4年度	313,440円	313,440円
差 引	1,789,013円	1,789,013円
前年比	670.8%	670.8%

施設本体は昨年度より6,878,181円、率では3.2%の増収であった。

短期入所の利用率は増収し、昨年度より1,789,013円、率では570.8%の増収であった。

6 日常生活動作能力別

令和6年3月31日現在

区 分 \ 性 別		男		女		合計	
		19 人		21 人		40 人	
食 事	全 介 助	4		3		7	
	一 部 介 助	15		11		26	
	自立 (見守り・声かけ)	0		7		7	
排 泄	全 介 助	7		5		12	
	一 部 介 助	12		9		21	
	自立 (見守り・声かけ)	1		7		8	
着 脱	全 介 助	4		6		10	
	一 部 介 助	15		4		19	
	自立 (見守り・声かけ)	0		11		11	
洗 面	全 介 助	7		10		17	
	一 部 介 助	12		6		18	
	自立 (見守り・声かけ)	0		5		5	
入 浴	全 介 助	8		10		18	
	一 部 介 助	11		11		22	
	自立 (見守り・声かけ)	0		0		0	
歯 磨 き	全 介 助	8		10		18	
	一 部 介 助	11		11		22	
	自立 (見守り・声かけ)	0		0		0	
生 理	全 介 助	0		4		4	
	一 部 介 助	0		3		3	
	自立 (見守り・声かけ)	0		0		0	
	終了	0		14		14	

7 入院状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

性別	精神神経科	その他の科	合計	備考
男	3 人	5 人	8 人	[その他の診療科の主な入院内容] 誤嚥性肺炎 後頭部陥没骨折・脳挫傷 左大腿骨頸部骨折 直腸脱手術 白線ヘルニア手術
女	2	4	6	
合計	5	9	14	

8 通院状況別

令和5年4月1日～令和6年3月31日

	内科	外科	整形外科	精神神経科	皮膚科	歯科	眼科	耳鼻科	脳外科	泌尿器	婦人科	合計
男	67 回	21 回	22 回	155 回	58 回	39 回	7 回	10 回	8 回	0 回		387 回
女	85	4	45	86	38	43	22	1	0	6	4 回	334
合計	152	25	67	241	96	82	29	11	8	6	4	721

(把握分)

9 服薬状況

令和6年3月31日現在

性別	要服薬者	非服薬者	合計
男	18 人	1 人	19 人
女	19	2	21
合計	37	3	40

定期薬服薬者(座薬や頓服薬者除く)

10 服薬状況内訳

令和6年3月31日現在

性別	中枢神経系 用薬使用者	その他内服 薬使用者	合計
男	15 人	3 人	18 人
女	13	6	19
合計	28	9	37

定期薬の種類別分類

11 栄養摂取状況別

令和5年度平均

	エネルギー	たんぱく質	脂質	カルシウム	鉄	ビタミンA	ビタミンB1	ビタミンB2	ビタミンC
	(Kcal)	(g)	(g)	(mg)	(mg)	(ug)	(mg)	(mg)	(mg)
平均	1,765	71.1	41.8	908	13.2	637	0.99	1.16	107
ふじの木園基準量	1,800	66.0	40.0	660	11.0	700	1.20	1.10	100

※ おやつ除く

知的障害者(児)短期入所事業の状況 (契約者数73名の内、19名の利用 ・ 延べ利用日数317日)

1 契約状況(市町村別)

令和6年3月31日現在

市町村名	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
江南市	33 人	15 人	48 人
一宮市	3	1	4
犬山市	0	1	1
小牧市	2	0	2
岩倉市	1	2	3
名古屋市	0	1	1
大口町	7	2	9
扶桑町	1	4	5
合計	47	26	73

2 障害支援区分

令和6年3月31日現在

区分	成人(18歳以上)		合計
	男	女	
区分1	7 人	2 人	9 人
区分2	0	2	2
区分3	6	3	9
区分4	19	6	25
区分5	12	12	24
区分6	3	1	4
合計	47	26	73

3 年齢別

令和6年3月31日現在

性別	成人						合計	平均年齢
	18~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60歳以上		
男	1 人	5 人	11 人	15 人	10 人	5 人	47 人	39.4 歳
女	0	3	10	6	6	1	26	38.2
合計	1	8	21	21	16	6	73	38.8

令和5年度 ふじの木園（相談事業） 事業報告書（案）

1 ふじの木園の運営

設置・経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 指定特定相談支援事業所〔特定相談支援事業〕
 事業所名 ふじの木園
 所在地 江南市河野町五十間88番地
 事業内容と定員 特定相談支援事業
 (1) 計画相談支援 随時
 (2) 基本相談支援 随時
 対象者 計画相談支援 障害福祉サービスを利用する者
 基本相談支援 障害者及びその家族等
 職員数 [職員]・常勤2名、非常勤1名 計3名

(単位：人)

	施設長	相談支援専門員	合計
男	※1	1	2
女		(1)	(1)
合計	1	1 (1)	2 (1)

() は非常勤職員数、別掲
 ※は、障害者支援施設ふじの木園施設長を兼務

2 事業総括

(1) 計画相談支援

施設入所利用者については、現状の支援目標の達成度に留意し、新たな目標の設定を行い、より良い生活につながる計画の作成に務めた。利用者の身体機能、健康状態の変化により、施設移行が必要となった方には、本人、保護者のニーズを把握し、対象者の状況にあわせた移行先として、身体障害者支援施設や共生型有料ホームへの移行へつなげ、居宅介護や生活介護へつなげる支援を行った。

在宅利用者については、本人の障害の状態や家族の介護負担、家庭の経済状況等の把握を行い、現状の生活の改善、問題解決に向けて、グループホームの入居や転居、就労継続支援B型事業所へつなげる支援を行った。

モニタリングでは、本人、保護者の意向の把握を行い、適切なサービス利用につながるような計画の作成に努めた。

今年度は、新規契約もあったが、施設移行に伴う契約終了もあり、契約者数は前年度より2名減の106名であった。利用者個々の状況に合わせた計画変更の増加、計画変更に伴うモニタリングの増加があり、報酬は253,440円、率では5.3%の増収であった。

(2) 基本相談支援

障害福祉サービスの利用に関すること、家族の抱える本人への不安の解消等、個々のケースに合わせて障害者やその家族からの相談に応じ、必要な情報提供に努めた。

3 中期計画の令和5年度の取り組み

(1) 安定的運営と事業の方向性

ア 安定的運営

相談支援専門員2名が現任者研修を修了した。また、法人職員1名が初任者研修を受講し、修了。相談員体制を維持し、現状の契約者数の維持に努めた。

イ 相談支援体制

相談支援専門員2名体制の中で、現在受け持つ利用者の状況の変化から、個別のケースに丁寧な対応が求められることが多くあることから、現状では、現在の契約者数を適正と判断した。

(2) 利用者サービスの向上

ア 相談支援専門員のスキルアップ

相談支援専門員2名が現任者研修を修了した。2ヶ月に一度の頻度で開催された江南市相談支援部会に参加し、市内の相談支援事業所の相談支援専門員との意見交換や情報共有をすることができた。また、新規のグループホーム等の事業所を見学し、情報収集を行い、利用者への情報提供につなげた。

イ 安全なサービス提供の実施

コロナ禍における計画相談の支援体制について、電話での聴き取りを取り入れる等、利用者、ご家族にとって不利益のない計画相談に努めた。

事業内容

1 計画相談支援

計 画 相 談 支 援	サービス利用支援 契約者数 106名 (男性59名・女性47名) サービス等利用計画作成件数 115件 サービス担当者会議開催回数 93件
	継続サービス利用支援 契約者数 106名 (男性59名・女性47名) モニタリング報告書作成件数 247件

2 基本相談支援

基本 相 談 支 援	【主な相談内容】	
	健康・医療に関する相談	53件
	福祉サービスに関する相談	243件
	家計・経済、生活技術に関する相談	11件
	不安の解消・情緒安定に関する支援	11件
	権利擁護に関する相談	11件

計画相談支援

1 サービス利用支援

障害福祉サービスの支給量更新時に合わせてサービス等利用計画案の作成を主に行った。支給更新時は、遅滞のないサービス等利用計画の作成に努め、利用者とその家族への聴き取りを行い、情報の収集やニーズを把握し、適切なサービス利用につなげることができた。また、サービス等利用計画の作成後はサービス担当者会議を開催し関係者間での情報共有や支援方法等について協議をすることができた。

2 継続サービス利用支援

定められた期間ごとにモニタリングを実施し、サービスの進捗状況や生活状況、ニーズの変化等を把握し適切なサービス利用へとつなげることができた。また、モニタリングの期間外でも生活環境やニーズの変化等が見られた際にはその都度モニタリングを実施し、サービス事業所との調整やサービス内容の変更等により利用者と家族の安心安全な生活に務めた。

基本相談支援

障害者やその家族からの福祉や日常生活等の相談に対して、必要に応じて障害福祉サービス事業所や行政・医療機関等の専門機関の情報提供等を行った。

【主な相談内容】

障害福祉サービス利用に関する相談等が73.8%を占め、最も多く、次いで健康・医療に関する相談が16.1%であった。

会議研修等出席状況

(会議関連)			(研修関連)		
管理会議	年間	12回	施設内研修	年間	2回
職員会議	年間	12回	外部研修	年間	7回
サービス担当者会議	年間	93件			
(部会関連)					
江南市相談支援部会	年間	5回			

特定相談支援事業の状況

1 契約状況（市町村別・障害等別）

令和6年3月31日現在

市町村名	性別		合計	障害等			
	男	女		知的	身体	精神	難病
江南市	50人	43人	93人	93人	9人	4人	0人
一宮市	4	2	6	6	1	0	0
岩倉市	0	0	0	0	0	0	0
小牧市	0	1	1	1	0	0	0
犬山市	1	0	1	1	0	0	0
名古屋市	0	0	0	0	0	0	0
清須市	1	0	1	1	0	0	0
北名古屋市	0	1	1	1	0	0	0
大口町	1	0	1	1	0	0	0
扶桑町	2	0	2	2	0	0	0
合計	59	47	106	106	10	4	0

2 障害支援区分別

令和6年3月31日現在

区分	非該当	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	0人	4人	21人	15人	19人	59人
女	1	0	1	7	14	14	10	47
合計	1	0	1	11	35	29	29	106

3 年齢別

令和6年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上	合計	平均年齢
男	0人	1人	5人	8人	23人	18人	0人	4人	59人	43.9歳
女	0	0	1	12	10	16	4	4	47	44.7
合計	0	1	6	20	33	34	4	8	106	44.3

4 月別支援状況

(1) 開所日

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
開所日数	20日	20日	22日	20日	20日	20日

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
開所日数	21日	20日	20日	19日	19日	20日	241日	20.1日

(2) サービス等利用計画書の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
サービス等利用計画作成件数	12件	9件	10件	9件	10件	11件

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
サービス等利用計画作成件数	6件	6件	9件	13件	11件	9件	115件	9.6件

(3) モニタリング報告書の作成

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
モニタリング報告書作成件数	22件	17件	27件	23件	19件	20件

月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
モニタリング報告書作成件数	24件	18件	16件	23件	20件	18件	247件	20.6件

5 利用料収入の前年度比較

	金額
令和5年度	5,064,550円
令和4年度	4,811,110円
差引	253,440円
前年比	105.3%

サービス等利用計画の変更件数の増、計画変更によるモニタリングの増により、253,440円、率では5.3%の増収であった。

6 障害福祉サービス利用状況

障害福祉サービス		性別		合計
		男	女	
通所・在宅系サービス	生活介護	24人	14人	38人
	短期入所	24	12	36
	短期入所（療養型）	0	0	0
	居宅介護	1	3	4
	就労継続支援B型	1	1	2
	地域活動支援センター	3	3	6
	移動支援	4	3	7
	日中一時	2	2	4
居住系サービス	共同生活援助	11	9	20
	生活介護	28	30	58
	施設入所支援	19	21	40
合計		117	98	215

※重複利用があるため、契約者数とは一致しません。

令和5年度 ときわ作業所 事業報告書(案)

1 ときわ作業所の運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 障害福祉サービス事業
 事業所名 ときわ作業所
 所在地 江南市後飛保町高瀬69番地
 事業内容と定員 生活介護 55名(現員49名)
 対象者 障害支援区分が区分3以上の者
 年齢が50歳以上の場合は、障害支援区分が区分2以上である者
 職員数 [職員]・常勤13名(正規11名・契約2名)・非常勤10名
計23名
 [他]・嘱託医(精神科)1名
 ・講師(音楽療法・軽運動)4名 計5名

職員

(単位：人)

	施設長	支援主幹 (サービス管理責任者)	事務員	支援員	
				グループリーダー	支援員
男	※ ₁ 1	※ ₂ 1	1	※ ₃ 2	※ ₃ 2 (3)
女					※ ₃ 6 (5)
合計	1	1	1	10 (8)	

	看護師	合計
男		7 (3)
女	※ ₄ (2)	6 (7)
合計	(2)	13 (10)

()内は非常勤職員数、別掲

※₁は、ときわホーム施設長及び小規模授産施設施設長を兼務

※₂は、ときわホームサービス管理責任者を兼務

※₃は、ときわホーム生活支援員及び世話人を兼務

(事業継続等のため兼務できるものとする小規模授産施設指導員を含む)

※₄は、内1名はときわホーム非常勤支援員を兼務、内1名はあゆみ看護師を兼務

2 事業総括

生活介護

令和5年5月、新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類から5類へ引き下げられた以降、利用者の感染リスクの回避と健康を踏まえながら感染症対策の見直しを行い、活動の幅を広げることができた。

日中における生産活動の機会の提供及び食事や排せつ等の日常生活上の介護の他、創作的活動の機会を提供することにより、生活能力の向上に向け必要な支援を行った。

生産活動は、障害の重度化、高齢化に合わせ、刃物を使用する作業であるハンガーの作業を縮小し、多くの利用者が携わることができるボールリングのカストリ作業を試行的に取り入れた。

創作的活動の音楽療法は、楽器演奏を中心に、毎月フロアごとに実施することができた。余暇活動の経済活動は少人数での喫茶外出を取り入れ、活動の幅を広げることができた。社会見学は「どうする家康岡崎大河ドラマ館」へ外出し、楽しみながら教養を高めることができた。

給食支援は、委託業者と連携し利用者が選択できる献立や季節のおすすめ献立を取り入れ、楽しみの持てる食事の提供ができた。また、直接希望や思いを伝えられる場として、給食連絡会議へ利用者が参加できるよう検討を進めた。

ときわホームのバックアップは、職員間で連携を図ることで、利用者の体調面及び精神面の把握をし、必要に応じた病院受診等の対応をすることができた。

事業所の稼働日数は、暴風警報発令に伴う休所が1日あり249日となった。

利用者数は新規利用者が1名、障害者支援施設への移行に伴う退所者が1名あり、49名で増減はなかった。

事業所の利用料収入は、送迎サービスを拡充したことで平均利用人数が増加し、昨年度より3,646,530円、率では3.9%の増収であった。

事業内容

1 生産活動

活動班	1 ひまわり班 ①ボカシ [EM ボカシ製造・販売] ②ガス器具部品組み付け [リンナイ (株)] ③ハンガー組み立て [(株) エイワ商事] ④チラシ綴じ [(株) ライドオンエクスプレス] ⑤その他 [園芸・リサイクル] 利用者28名 (男性21名・女性7名)
	2 パンダ班 ①手芸 [絞り染めタオル等] ②ボール洗浄 [(有) モードテラ] ③PPバンド [(株) エルスタット] 利用者21名 (男性10名・女性11名)

2 創作的活動（ときわ・小規模共通）

療育活動 文化活動	音楽療法	年間 12回実施
	軽運動	年間 24回実施
	貼り絵・絵画等	随時実施
クラブ活動	スポーツクラブ	年間 6回実施
	音楽クラブ	年間 6回実施

※感染症予防のため、主に各フロアで実施

3 その他の活動

余暇活動	社会見学	11月28日実施
	経済活動	年間19回実施 (喫茶外出活動16回) (フロア活動3回)
	誕生会	年間12回実施
	季節行事	随時実施

※感染症予防のため、主に各フロアで実施

合同行事	第43回ときわバザー（縮小開催）	10月28日実施
	交流会	中止
その他	地域・福祉施設合同秋まつり	中止

※交流会の代替行事として「今年も一年頑張りましょう会」を実施（1月18日）

4 健康支援

健康調査表や健康診断の結果の確認、日常の健康観察を行うことで、適切に健康面の把握をすることができた。歯科衛生士による視察は中止となったが、歯科健診の実施によって口腔内の状態を保護者と共有し、必要な歯科受診へとつなげることができた。また、歯科受診の継続実施は歯磨き習慣の意識付けにもなり、歯と歯肉、口腔内の健康の保持と増進をすることができた。

5 給食支援

委託業者と連携を図り、身体状況に応じた刻み食の提供や残食量の把握、選択できる献立や季節のおすすめ献立を取り入れることで、利用者の嗜好に合わせた給食提供ができた。衛生面については、感染症予防の徹底や調理業務の衛生管理に努めることで清潔感のある厨房、食堂を保つことができた。

直接希望や思いを伝えられる場として、給食連絡会議へ利用者が参加できるよう検討を進めた。

6 ときわホームのバックアップ

ときわホームの利用者の状況については、朝礼や終礼を通して情報の共有を図り、利用者の体調面及び精神面の把握に努めたことで、日中の利用者支援の向上にもつなげることができた。

7 中期計画の令和5年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

ア 利用者定員の見直し

利用者数の変動に対して柔軟に対応する必要があることから、令和6年度の契約利用者数に合わせた適正な利用者定員について検証を進めた。検証の結果、令和6年度は、利用者定員を55名から50名へ変更する必要があることを確認し、準備を進めた。また、指定管理事業の動向を踏まえ、引き続き検証をしていく。

イ 強度行動障害を有する利用者に対する支援体制

強度行動障害支援者講習の受講には至らなかったが、療育等支援研修会の動画視聴を全職員対象に実施した。障害特性に関する基礎知識を学ぶことで、支援の質の向上に努めた。

(2) 利用者サービスの向上

ア 班活動、日課の見直し

生産活動は、障害の重度化、高齢化に合わせ、刃物を使用する作業であるハンガーの作業を縮小し、多くの利用者が携わることができるボールリングのカストリ作業を試行的に取り入れた。

創作的活動や余暇活動については、フロアごとの活動を継続しながら外出活動を再開する等、内容を充実させることができた。

イ 工賃の見直し

利用者の状況に合わせて評価基準表を変更したことで、一人ひとりが携わる工程の幅を広げることができた。また、作業内容を検証し、社会情勢に合わせた適正価格とするための価格協議を取引業者と行った。

ウ 送迎サービスの見直し

送迎対応利用者を昨年度の12名から17名に増やし、サービスを拡充した。1回平均10名以上の送迎を実施し、保護者の送迎負担軽減及び利用率の増加につなげることができた。また、緊急に送迎が必要となった利用者3名に対して、毎日通所できるよう緊急利用の送迎サービスを実施した。

(3) 設備等ハード面の充実

事業所の整備、保全

利用者の障害の重度化や高齢化、老朽化に伴う大規模修繕や建替えについての必要性や時期等の調査研究を行った。厨房床塗装の補修及び北側駐車場のフェンス補修等、適切な設備の改修や維持管理等に取り組んだ。

生産活動報告

1 ひまわり班

① ボカシ [EMボカシ製造・販売]

多くの利用者が製品になるまでの工程に携われるよう、工程ごとに内容を確認し取り組むことで責任感を養い、製品への理解を深めることができた。販売店への納品を定期的に行い、売上数や商品の状態を把握することで、品質を一定に保つことができた。また、納品先の職員や地域の方々からも挨拶や励ましの言葉をいただき、利用者の作業意欲向上につながった。

② ガス器具部品組み付け [リンナイ㈱]

資材の組み付けでは、多くの利用者が携わることができるよう補助具の工夫をしたことで、作業への自信につなげることができた。また、納品箱の清掃や納入カードの準備、トラックの積み下ろしや納品等、工程ごとに説明し取り組むことで、作業の幅を広げることができた。

かんばん（資材）管理表を基に業者との資材の確認を綿密にしたことにより、納期に遅れずに対応することができた。

③ ハンガー組み立て [㈱エイワ商事]

作業工程を見直し、利用者に分かりやすく説明することで、作業の大切さを自覚し、質の良い製品作りができた。

利用者の障害特性に合わせて刃物を使用する工程の見直しが必要となり、業者と調整のうえで作業を縮小した。

④ チラシ綴じ [㈱ライドオンエクスプレス]

宅配寿司販促チラシの中に、宅配釜飯販促チラシを綴じる作業に取り組んだ。枚数を数える工程やチラシを綴じる工程等、障害の程度や年齢等に関わらず取り組むことができる工程を設けた。作業工程を確認しながら取り組むことで、多くの利用者が携わることができる作業として定着した。また、自らが携わるチラシが近隣の家庭（自宅）に配布されることで、社会とのつながりを感じることもできた。

⑤ その他 [園芸・リサイクル]

利用者の重度化、高齢化に合わせた工程としたことで、利用者同士が協力しながら取り組み、やりがいにつなげることができた。

○主な作業内容

[園芸] サツマイモの栽培、葉ボタン寄せ植え

[リサイクル] 段ボール、アルミ缶の仕分け

2 パンダ班

① 手芸 [絞り染めタオル等]

絞り染めについては、作業工程を増やしたことで、仕上がりの模様を楽しみにし、やりがいを持って多くの利用者が携わることができた。感染予防の観点から販売店舗は限定的であったが、保護者販売や市のイベントに向けた製品作りをすることで、喜びや充実感を得ることができた。

② ボール洗浄 [有)モードテラ]

障害の特性に合わせて作業工程を工夫したことで、障害の程度に関わらず多くの利用者が携わることができる作業として定着した。また、作業工程を丁寧に説明し、必要な備品を整えることで、丁寧に洗浄やふきとりをすることができた。また、月1回の納品業務をとおして、地域社会との関わりを持つことができた。

③ PPバンド [㈱エルスタット]

バンドのカット、パーツ付け、結び付けと各工程を交代しながら行うことで、製品の完成につながった。各工程のチェックポイントをお互いが確認して協力し合うことで、個々の役割を果たす責任感や相手のことを思いやる協調性を養うことができた。

創作的活動報告（ときわ・小規模共通）

1 療育活動

音楽療法

外部講師による音楽療法と音楽を取り入れたレク活動をフロアごとに実施した。楽器の演奏や音楽に合わせて体を動かすことで、心身のリフレッシュや情緒の安定につながることができた。利用者の活動中の様子や意向を確認しながら、次回の活動内容にリクエスト曲や興味のある楽器の演奏を取り入れることで、より有意義な活動とすることができた。

年間12回実施

2 文化活動

①軽運動

障害の重度化、高齢化や運動不足に対応することを目的に外部講師を招き、フロア活動に限定して実施をした。利用者の状況に合わせた活動となるように事前に打ち合わせをして実施することで、活動を楽しみにする利用者も多く、運動への意識を高めることができた。また、日中活動にメリハリが付き、余暇の過ごし方や興味の幅を広げることができた。

年間24回実施

ストレッチ、ボッチャ、フライングディスク

②貼り絵、絵画等

四季や季節の行事に応じた作品を作ることで、物を作る楽しさを感じることができた。2月に実施した事業所内の作品展では、フロアごとに協力して共同作品を作り、皆で作る楽しさと、完成した作品を来客者に見てもらおう喜びと達成感を感じることができた。

随時実施

3 クラブ活動

①スポーツクラブ

フロアごとのクラブ活動とし、感染予防を踏まえつつ年間計画を立てて実施した。ボール運動やダンス等の体を動かす活動や、輪投げや世界スポーツクイズ等のゲーム形式の活動を行った。利用者の希望を取り入れることによって活動の幅が広がり、楽しく体を動かして体力維持につながることができた。

年間6回実施（フロア活動6回）

②音楽クラブ

フロアごとのクラブ活動とし、感染予防を踏まえつつ年間計画を立てて実施した。紅白歌合戦クイズや楽器演奏、音楽鑑賞を行った。利用者の希望を取り入れることによって活動の幅が広がり、楽しく自発的に参加することができ、情緒の安定につながることができた。

年間6回実施（フロア活動6回）

その他の活動報告（ときわ・小規模共通）

1 余暇活動

①社会見学

感染予防の観点から、各フロア1台のバスに乘車し大河ドラマで話題の「どうする家康岡崎大河ドラマ館」に出掛けた。館内ではドラマに沿った戦国時代の歴史を学び、出演俳優のパネルと記念撮影を行った。隣接する岡崎公園の散策をしながら、お土産の購入を楽しんだ。日頃の事業所での活動を離れ、他の利用者と一緒に楽しみながら教養を高め、集団行動の中でのマナーも身に付ける機会となった。

実施日 令和5年11月28日

ホテル松風、岡崎公園、どうする家康岡崎大河ドラマ館

②経済活動

感染予防の観点から、少人数による喫茶外出と事業所内での活動として実施した。喫茶外出ではグループごとに希望したお店に出かけ、ティータイムを楽しむことができた。

年間19回実施（喫茶外出活動16回、フロア活動3回）

③誕生会

フロア毎で利用者中心の誕生会を実施した。皆で準備をして行うことで、仲間から祝福される喜びを感じるとともに、仲間を祝福する気持ちも育むことができた。

年間12回実施

④季節行事

感染予防の観点から、地域との関わりは限定されたが、各種行事を通して季節の移り変わりを肌で感じ取ることができた。

主な季節行事

なかよし会（令和5年12月14日）

江南市スポーツ推進委員の方を招き、事業所内でフロアごとにカラーリング競技を実施した。委員の方の丁寧な指導を受けながら、投げ方の工夫をすることで楽しく参加することができた。また、他の投球者を応援する等、競技を通して協調性を養うこともできた。

クリスマス会（令和5年12月22日）

ハワイアンダンスグループの方を招き、フロアごとにハワイアンダンス鑑賞をした。鑑賞後には、一緒に踊りや楽器演奏に楽しく参加することもできた。

ケーキやジュースを楽しく飲食しながらサンタからプレゼントを受け取り、クリスマスの雰囲気を感じることができた。

2 合同行事

①第43回ときわバザー（令和5年10月28日）

通常より規模を縮小し、近隣の住民の方々などを対象に来場していただく形で4年ぶりに実施した。ふじの木園会場とニコット会場に分けて、法人内各施設と保護者の製品販売、ゲームコーナー、ワークショップ、キッチンカーによる販売を行った。ゲームコーナーとワークショップでは、利用者が接客に携わり来客者と交流を図ることができた。

②交流会（令和6年1月18日）

感染予防のため代替行事として「今年も一年頑張りましょう会」を事業所ごとに実施した。午前の部では新成人のお祝いと職員顕彰の式典を行い、午後の部ではDVDによる江南市長からの挨拶と音楽療法講師の演奏を鑑賞することで、従来の交流会に近づいた内容となり、皆で楽しむことができた。

3 その他

地域・福祉施設合同秋まつり

感染予防のため中止。

令和5年度 ときわ作業所行事等報告

月 日	行 事 等	
7.13	健康診断（移動検診車）	名古屋公衆医学研究所
9.23	地域・福祉施設合同秋まつり（中止）	
9.28	歯科健診	尾北歯科医師会
10.11	いもほり	
10.30	第43回ときわバザー	ときわ作業所・小規模・ふじの木園・あゆみ合同
11.28	社会見学（どうする家康岡崎大河ドラマ館）	
12.14	なかよし会	
12.22	クリスマス会	
1.18	交流会（中止） 今年も一年頑張りましょう会（交流会代替行事）	ときわ作業所・小規模・ふじの木園・あゆみ合同
3.5	健康診断	藤原医師
事業所実習等		他団体協力バザー
古知野高校	8名（7月～8月）	藤まつりバザー 4月22日～4月28日
尾北看護専門学校	12名（1月～2月）	ふくし江南ふれあいまつり 10月8日
夏休み福祉体験学習	3名（8月）	J Aまつり（J A愛知北江南江南支店） 12月2日～12月3日
その他		
身体測定	12回実施	新型コロナワクチン接種（細野医師）
誕生会	12回実施	オミクロン株2回目 6月9日～6月16日
クラブ活動	12回実施（各フロアで12回実施）	
経済活動	19回実施 （喫茶外出活動16回 フロア活動3回）	
避難訓練	3回実施（内1回水防）	
保護者会	12回実施	
医療相談	12回実施	

利用者の状況

1 市町村別

令和6年3月31日現在

出身地	性別		合計	入所前の状況		
	男	女		在宅	他施設	学校
江南市	29人	16人	45人	6人	13人	26人
一宮市	2	2	4	0	0	4
扶桑町	0	0	0	0	0	0
合計	31	18	49	6	13	30

2 障害支援区分別

令和6年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	2人	12人	12人	5人	31人
女	0	0	4	4	9	1	18
合計	0	0	6	16	21	6	49

3 年齢別

令和6年3月31日現在

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	1人	4人	7人	14人	4人	1人	31人	40.5歳
女	0	1	6	3	8	0	18	42.7
合計	1	5	13	17	12	1	49	41.7

4 月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	945人	897人	983人	948人	857人	923人
稼働日数	21日	20日	22日	21日	21日	21日
1日当たり 平均利用人数	45.0人	44.9人	44.7人	45.1人	40.8人	44.0人
契約人数	50人	50人	50人	50人	50人	49人
利用率	90.0%	89.7%	89.4%	90.3%	81.6%	89.7%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	958人	916人	900人	860人	845人	895人	10,927人	910.6人
稼働日数	22日	21日	20日	20日	20日	20日	249日	20.8日
1日当たり 平均利用人数	43.5人	43.6人	45.0人	43.0人	42.3人	44.8人		43.9人
契約人数	49人	49人	49人	49人	49人	49人	593人	49.4人
利用率	88.9%	89.0%	91.8%	87.8%	86.2%	91.3%		88.8%

利用率 定員55人のところ平均契約人員49.4人に対して、平均利用人数43.9人 利用率88.8%
年間述べ10,927人が利用
年間稼働日数 249日

5 利用料収入の前年度比較

(1) 事業所本体

	生活介護	特定費用等	金額
令和5年度	92,146,449円	3,930,788円	96,077,237円
令和4年度	88,859,667円	3,571,040円	92,430,707円
差引	3,286,782円	359,748円	3,646,530円
前年比	103.7%	110.1%	103.9%

利用料収入は、平均利用人数が増加したことにより、3,646,530円の増収となった。

6 生産活動収入の状況

(1) 生産活動全体

	金 額
令和 5 年度	3,870,256 円
令和 4 年度	3,298,247 円
差 引	572,009 円
前 年 比	117.3 %

前年度に比較して、572,009円の増収であった。

(2) 内訳

①自主作業収入

	金 額
令和 5 年度	888,164 円
令和 4 年度	744,659 円
差 引	143,505 円
前 年 比	119.3 %

自主作業収入は、前年度に比較して、143,505円の増収であった。

②下請作業収入

	金 額
令和 5 年度	2,982,092 円
令和 4 年度	2,553,588 円
差 引	428,504 円
前 年 比	116.8 %

下請作業収入は、前年度に比較して、428,504円の増収であった。

7 日常生活動作能力別

区 別	性 別	男	女	合計
		31人	18人	49人
食 事	全 介 助	0	0	0
	一 部 介 助	17	13	30
	自立(見守り・声掛け)	14	5	19
排 泄	全 介 助	0	0	0
	一 部 介 助	22	12	34
	自立(見守り・声掛け)	9	6	15
生 理	全 介 助	—	0	0
	一 部 介 助	—	12	12
	自立(見守り・声掛け)	—	6	6

令和5年度 ときわホーム 事業報告書(案)

1 ときわホームの運営

設置主体 社会福祉法人 ときわ会
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 障害福祉サービス事業
 事業所名 ときわホーム「ニコット」
 所在地 江南市河野町五十間115番地
 事業内容と定員 共同生活援助(介護サービス包括型)事業 6名(現員6名)
 職員等 [職員]・常勤9名(正規7名・契約2名)・非常勤8名
計17名

職員

(単位：人)

	施設長	サービス 管理責任者	世話人	生活支援員	合計
男	※ ₁ 1	※ ₂ 1		※ ₃ 2 (1)	4 (1)
女			※ ₃ 2 (3)	※ ₃ 3 ※ ₄ (4)	5 (7)
合計	1	1	2 (3)	5 (5)	9 (8)

()内は非常勤職員数、別掲

※₁は、ときわ作業所及び江南市心身障害者小規模授産施設施設長を兼務

※₂は、ときわ作業所サービス管理責任者を兼務

※₃は、ときわ作業所生活支援員を兼務

(事業継続等のため兼務できるものとする小規模授産施設指導員を含む)

※₄は、内1名はときわ作業所看護師を兼務

2 事業総括

令和5年5月、新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類から5類へ引き下げられた以降、利用者の感染症リスクの回避と健康を踏まえながら感染症対策の見直しを行い、活動の幅を広げることができた。

6名の利用者が良好な関係を築き、共同生活の役割を担い、自立した生活を送ることができるように支援をした。キッチン当番の役割について、当番と個別の対応を明確化することで、利用者同士が相手を思い、協力する気持ちを持つことができた。また、利用者会議での要望確認により、利用者の気持ちに寄り添った支援をすることで、より良い生活が送れるようになった。

食事は各居室で摂る支援を継続したが、行事や外出時は制限を緩和し、皆で食事を楽しむ機会を作ることができた。日中活動の場である、ときわ作業所の給食と献立が重ならないように配慮をし、季節に応じた食べ物や誕生者のリクエストを加えるなど楽しみの持てる献立に努めた。

週末や祝日に、市内で開催されたバザーやコンサート観賞等への外出活動を定期的に実施した。また、喫茶店、スーパーへの食材購入やコンビニエンスストアで

のおやつ購入を随時実施したことで、利用者の活動の充実につながった。

ホームの一日の平均利用人数は5.6人で平均契約人数に対して利用率は92.6%であった。利用料収入は、利用日数や区分の変更があり、前年度に比べて額で157,754円、率では1.3%の増収であった。

事業内容

1 健康支援

利用者の健康管理は、バックアップ事業所(ときわ作業所)と連携し、体温や血圧や体重などのバイタルチェックを行うことで健康な生活を送ることができた。また、体調不良が見られた際には嘱託医への相談、適切に通院の対応をすることで大病になることなく元気に過ごすことができた。

インフルエンザ予防接種や新型コロナワクチン接種をバックアップ施設(ふじの木園)で実施することができた。

2 余暇支援

① 外出・休日余暇活動

感染予防に努めながら、市内で開催されたバザーやコンサート観賞等への外出活動を定期的に実施した。また、喫茶店、スーパーへの食材購入やコンビニエンスストアでのおやつ購入を随時実施したことで、休日の活動の充実につながった。

[実施回数] 随時

② 誕生会

事前の飾りつけを利用者中心で行い、誕生者を皆でお祝いし、誕生者からも皆に感謝の言葉を伝えることができた。誕生者が希望した一品を取り入れた夕食を楽しく食べることができた。

[実施回数] 年6回

③ 季節行事

夏の花火会は皆で花火を楽しみ、秋の十五夜やハロウィン、冬のクリスマス会では行事にちなんだ食事を食べ、季節の移り変わりを感じることができた。年末の忘年会は、一年間の反省と目標を一人ひとり発表し、有意義な時間となった。

[実施回数] 年5回

3 地域生活支援

月2回ある不燃ごみのゴミ出しの日は、指定の収集場所で地域の方たちと挨拶をしながら交流を図った。また、ホーム周辺の清掃を行い、地域環境の美化に努めた。地域住民の方たちとの交流を目的として開催する「地域・福祉施設合同秋まつり」は感染予防のため、中止となったが、近隣の方々との良好な関係を持つことができた。

[実施回数] 随時

4 入院時・外泊時の支援

外泊時は、必要に応じ家庭に連絡し、本人の状態把握等を行った。

5 バックアップ施設、関係機関との連携

バックアップ施設と情報共有をしながら利用者の活動を支援した。また、緊急時や利用者の体調不良等の場合には、バックアップ事業所(ときわ作業所・ふじの木園)と連絡調整し適切に対応した。

6 中期計画の令和5年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

週末の支援体制

世話人業務の対応職員を増やしたことで、緊急時や体調不良等への利用者支援の充実につながった。さらなる安定した体制を構築するため、宿直対応職員の人員確保に向けて対応した。

(2) 利用者サービスの向上

ア 余暇時間の充実

週末や祝日に、市内で開催されたバザーやコンサート観賞等への外出活動を定期的実施した。また、喫茶店、スーパーへの食材購入やコンビニエンスストアでのおやつ購入を随時実施したことで、利用者の活動の充実につながった。

イ 利用者支援の見直し

- ① 訪問看護ステーションとの連携に向け、重度化対応指針の作成への情報共有を進めた。
- ② 健康面や精神面で統一した支援ができるように、ホーム会議や世話人会議で情報共有をしたことで体調不良等での通院は減少した。定期薬の処方等で通院することは増えたが、バックアップ施設と連携することで、適切に対応することができた。

ウ 食事提供方法の見直し

利用者が食事作りに携わる機会の増加に結び付けるため、食事提供方法の変更に向けた検討を行った。食材の宅配業者の活用に対し、食事提供方法を研究した。

(3) 設備等ハード面の充実

利用者の障害の重度化、高齢化に備え、事業運営が継続して行えるように支援区分認定調査の動向を見ながら、特定施設水道直結型スプリンクラーの設置の時期を検討した。

令和5年度 ときわホーム 行事等報告

月 日	年 間 行 事 等	月 日	休 日 余 暇 活 動
4. 7	誕生会		
		5. 4 27 28	買い物 歴史民俗資料館鑑賞、昼食購入 買い物
6. 13	オミクロン株ワクチン接種(細野医師)	6. 17	あじさい祭り散策
7. 28	花火会	7. 8 15 29	おやつ購入 昼食購入 ひまわり畑鑑賞
8. 25	誕生会	12 19	昼食購入 コンサート観賞
9. 8 29	誕生会 お月見	9. 24	昼食、買い物
10. 5 24 31	歓迎会 避難訓練 ハロウィンパーティー	10. 8 21	ふくし江南ふれあいまつり くるみん祭
11. 14 22	インフルエンザ予防接種(藤原医師) 水害訓練	11. 11 23	江南産業フェスタ 昼食、交通マナー
12. 12 23 26	オミクロン株ワクチン接種(藤原医師) クリスマスパーティー 忘年会	12. 3 16	J Aまつり 昼食
1. 12 23	誕生会 誕生会	1. 7 14 21	初詣 喫茶 昼食
2. 15	誕生会		
3. 22	避難訓練	3. 3 10	昼食 いずみまつり
<p>[各種会議・研修・その他]</p> <p>ホーム会 [12回実施]</p> <p>世話人会 [12回実施]</p> <p>家族会 [4回実施]</p> <p>利用者会 [12回実施]</p>			

共同生活援助事業所の状況

1 契約状況（市町村別）

令和6年3月31日現在

市町村名	性別		合計	入居前の状況			
	男	女		入所施設	通所施設	在宅	入院
江南市	0人	5人	5人	0人	0人	5人	0人
一宮市	0	1	1	0	0	1	0
合計	0	6	6	0	0	6	0

2 障害支援区分別

令和6年3月31日現在

区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人
女	0	0	4	2	0	0	6
合計	0	0	4	2	0	0	6

3 年齢別

令和6年3月31日現在

性別	18歳未満	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0歳
女	0	0	0	0	1	5	0	6	53.5
合計	0	0	0	0	1	5	0	6	53.5

4 月別利用状況

共同生活援助

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	171人	163人	169人	176人	173人	170人
稼働日数	30日	31日	30日	31日	31日	30日
1日当たり平均利用人数	5.7人	5.3人	5.6人	5.7人	5.6人	5.7人
契約人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人
利用率	95.0%	87.6%	93.9%	94.6%	93.0%	94.4%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	176人	169人	166人	162人	163人	176人	2,034人	169.5人
稼働日数	31日	30日	31日	31日	29日	31日	366日	30.5日
1日当たり平均利用人数	5.6人	5.6人	5.4人	5.2人	5.6人	5.7人		5.6人
契約人数	6人	6人	6人	6人	6人	6人		
利用率	94.6%	93.9%	89.2%	87.1%	93.7%	95.2%		92.6%

利用率 定員6人に対し、1日平均利用人数5.6人 利用率92.6% 年間延べ2,034人が利用

年間稼働日数 366日

5 主な日中活動先

日 中 活 動 先		人数	
就 労		0人	
サ ー 障 害 ビ 福 ス 社	生活介護	6人	
	就労移行支援	0人	
	就労継続支援	A型	0人
		B型	0人
地域活動支援センター	I型	0人	
	II型	0人	
	III型	0人	
合 計		6人	

6 利用料収入の前年度比較

共同生活援助

	介護給付費	特定障害者特別給付費	特定費用等	合計
令和5年度	9,415,502円	720,000円	1,944,000円	12,079,502円
令和4年度	9,257,748円	720,000円	1,944,000円	11,921,748円
差 引	157,754円	0円	0円	157,754円
前年比	101.7%	100.0%	100.0%	101.3%

令和5年度 江南市心身障害者小規模授産施設 事業報告書(案)

1 江南市心身障害者小規模授産施設の運営

設置主体 江南市
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 地域生活支援事業
 事業所名 江南市心身障害者小規模授産施設
 所在地 江南市後飛保町高瀬6番地
 事業内容と定員 地域活動支援センター(Ⅲ型)
 概ね15名(現員10名)
 対象者 市内在住の障害者(障害支援区分の区分制限なし)
 職員数 常勤4名(正規2名・契約2名)・非常勤1名 計5名

職員 (単位:人)

	施設長	事務員	指導員	合計
男	※ ₁ 1		1	2
女		※ ₂ 1	1 (1)	2 (1)
合計	1	1	※ ₃ 2 (1)	4 (1)

()内は非常勤職員数、別掲

※₁は、ときわ作業所施設長及びときわホーム施設長を兼務

※₂は、あゆみ事務員を兼務

※₃は、常勤はときわ作業所生活支援員及びときわホーム生活支援員、世話人を事業継続等のため兼務

2 事業総括

令和5年5月、新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類から5類へ引き下げられた以降、利用者の感染症リスクの回避と健康を踏まえながら感染症対策の見直しを行い、活動の幅を広げることができた。

日中における生産活動の機会の提供及び食事や排せつ等の日常生活上の介護の他、創作的活動の機会を提供することにより、生活能力の向上に向け必要な支援を行った。

生産活動は、利用者の障害の重度化、高齢化に合わせ、多くの利用者が携わることができるボールリングのカストリ作業を試行的に取り入れた。

創作的活動の音楽療法は、楽器演奏を中心に、毎月実施することができた。余暇活動の経済活動は、2グループに分かれて喫茶外出を行った。社会見学では「どうする家康岡崎大河ドラマ館」の見学や土産購入、ホテルで昼食を摂るなど、他の利用者とともに楽しみながら教養を高めることができた。

ガーデニングについては、馴染みのある野菜の栽培をした。野菜を種まきから収穫までの成長の過程を楽しみながら栽培し、収穫後は新鮮な状態で食べることで、達成感を得ることができた。また、グリーンカーテンづくりや季節に合わせた花を育て、季節感や清涼感を得ることができた。

給食支援は、委託業者と連携し利用者が選択できる献立や季節のおすすめ献立を継続し、楽しみの持てる食事の提供ができた。また、直接希望や思いを伝えられる場として、給食連絡会議へ利用者が参加できるよう検討を進めた。

施設の稼働日数は249日、平均利用人数は8.9人で平均契約人数に対して利用率は89.3%であった。

3 生産活動

下請作業	①ペン作業 [(株)市川産業] ②チラシ綴じ、箸袋詰め [(株)ライドオンエクスプレス] ③トイレ清掃 [江南市]
	利用者10名 (男性4名・女性6名)

4 中期計画の令和5年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

指定管理

今後の指定管理事業について江南市と協議を行った。結果、令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間で第5期指定管理契約として締結した。

(2) 利用者サービスの向上

※ときわ作業所と一体で実施

生産活動報告

下請作業

① ペン作業 [(株)市川産業]

作業の種類、工程共に多い仕事であるが、個々の利用者が理解して取り組むことのできる工程としたことで、お互いに協力して丁寧かつ正確に、資材の不良がないかまで確認しながら作業に取り組むことができた。納品準備は、皆で協力して行った。翌日の資材確保のため、利用者が帰宅後に納品することが多くなったが、日中帯での納品業務には多くの利用者が携わることができた。

② チラシ綴じ、箸袋詰め [(株)ライドオンエクスプレス]

宅配寿司販促チラシの中に、宅配釜飯販促チラシを綴じる作業と、1～5人前分の皿、醤油、箸をセットにして袋に詰める作業を作業開始前の手洗いや消毒を徹底して取り組んだ。作業内容を丁寧に説明し、工程を工夫することで、受注内容の変更にも戸惑いなく多くの利用者が作業に関わることができた。資材は丁寧に扱い、汚れや変形が起きないように気をつけながら、綴じ忘れや数の入れ間違いをせずに納品ができるよう、責任感を持って取り組むことができた。また、自らが携わるチラシが地域(自宅)に配布されることで、近隣社会とのつながりを感じることもできた。

③ トイレ清掃 [江南市]

トイレ内の床や便器の清掃、拭き取りや消毒に至る一連の流れについて丁寧に取り組み、清潔なトイレ環境を保つことに努めた。当番制で行い、毎回、当番を確認しながら利用者それぞれが責任を持って取り組むことができた。

創作的活動報告

1 療育活動

※ときわ作業所と一体で実施

2 文化活動

①貼り絵、絵画、ストレッチ等

※ときわ作業所と一体で実施

②ガーデニング

どの植物が季節に合うのかを調査し、馴染みのある野菜としてナス、ピーマン、ミニトマト、キュウリ等の栽培をした。野菜を種まきから収穫までの成長の過程を楽しみながら栽培し、収穫後は新鮮な状態で食べることで、達成感を得ることができた。季節に合わせた花として、ハイビスカスを育て、葉牡丹の寄せ植えを行い、季節感を得ることができた。また、グリーンカーテンづくりでは、オカワカメ、風船カズラ、朝顔の3種類の植物を栽培し、自然の日よけとして清涼感を得られることを体感することができた。

3 クラブ活動

※ときわ作業所と一体で実施

その他の活動報告

※ときわ作業所と一体で実施

行事報告

※ときわ作業所と一体で実施

令和5年度 江南市中心身障害者小規模授産施設行事等報告

月 日	行 事 等	
7.13	健康診断（移動検診車）	名古屋公衆医学研究所
9.23	地域・福祉施設合同秋まつり（中止）	
9.28	歯科健診	尾北歯科医師会
10.11	いもほり	
10.30	第43回ときわバザー	ときわ作業所・小規模・ふじの木園・あゆみ合同
11.28	社会見学（どうする家康岡崎大河ドラマ館）	
12.14	なかよし会	
12.22	クリスマス会	
1.18	交流会（中止） 今年も一年頑張りましょう会（交流会代替行事）	ときわ作業所・小規模・ふじの木園・あゆみ合同
3.5	健康診断	藤原医師
事業所実習等		他団体協力バザー
古知野高校	8名（7月～8月）	藤まつりバザー 4月22日～4月28日
尾北看護専門学校	12名（1月～2月）	ふくし江南ふれあいまつり 10月8日
夏休み福祉体験学習	3名（8月）	J Aまつり（J A愛知北江南江南支店） 12月2日～12月3日
その他		
身体測定	12回実施	新型コロナワクチン接種（細野医師）
誕生会	12回実施	オミクロン株2回目 6月9日～6月16日
クラブ活動	12回実施（各フロアで12回実施）	
経済活動	19回実施 （喫茶外出活動16回 フロア活動3回）	
避難訓練	3回実施（内1回水防）	
保護者会	12回実施	
医療相談	12回実施	

利用者の状況

1. 利用状況

令和6年3月31日現在

出身地	性別		合計	利用前の状況		
	男	女		在宅	他施設	学校
江南市	4人	6人	10人	0人	0人	10人
合計	4	6	10	0	0	10

2. 年齢別

令和6年3月31日現在

年齢	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計	平均年齢
男	0人	0人	1人	3人	0人	0人	4人	39.5歳
女	0	0	4	2	0	0	6	37.3
合計	0	0	5	5	0	0	10	38.2

3. 月別利用状況

令和6年3月31日現在

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用延べ人数	184人	182人	189人	189人	189人	193人
稼働日数	21日	20日	22日	21日	21日	21日
1日当たり平均利用人数	8.8人	9.1人	8.6人	9.0人	9.0人	9.2人
契約人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
利用率	87.6%	91.0%	85.9%	90.0%	90.0%	91.9%

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
利用延べ人数	197人	191人	185人	177人	169人	179人	2,224人	185.3人
稼働日数	22日	21日	20日	20日	20日	20日	249日	20.8日
1日当たり平均利用人数	9.0人	9.1人	9.3人	8.9人	8.5人	9.0人		8.9人
契約人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人	120人	10.0人
利用率	89.5%	91.0%	92.5%	88.5%	84.5%	89.5%		89.3%

利用率 定員概ね15人のところ平均契約人員10人に対して、平均利用人数8.9人 利用率89.3%
年間述べ2,224人が利用
年間稼働日数249日

4. 生産活動収入の状況

	金額
令和5年度	795,830円
令和4年度	803,169円
差引	-7,339円
前年比	99%

生産活動収入は、前年度に比較して7,339円の減収であった。

令和5年度 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ 事業報告書(案)

1 あゆみの運営

設置主体 江南市
 経営主体 社会福祉法人 ときわ会
 事業種別 地域生活支援事業
 事業所名 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ
 所在地 江南市後飛保町平野75番地2
 事業内容と定員 (1) 地域活動支援センター(Ⅱ型) 1日25名
 (2) 貸館事業 随時
 対象者 地域活動支援センター(Ⅱ型)
 市内在住の障害者(障害支援区分の区分制限なし)
 貸館事業
 障害者の介護者・障害者団体・ボランティア団体
 職員等 [職員]・常勤5名(正規2名・契約3名)・非常勤6名
 計11名
 [他]・講師(日常生活動作訓練・機能回復訓練・音楽療法・
 書画・パソコン) 計5名

職員 (単位:人)

	施設長 兼指導主幹	指導員	事務員	運転手	看護師	合計
男	1			(1)		1 (1)
女		3 (3)	※ ₁ 1		※ ₂ (2)	4 (5)
合計	1	3 (3)	1	(1)	(2)	5 (6)

()内は非常勤職員数、別掲

※₁は、小規模授産施設事務員を兼務

※₂は、内1名はときわ作業所看護師を兼務

2 事業総括

新型コロナウイルス感染予防対策を実施する中、基本事業である機能訓練、社会適応訓練、創作的活動などの地域活動支援センター事業を行った。

9月に利用者5名、職員6名が新型コロナウイルスに感染したが、自主通所期間とすることで機能を完全に止めることなく事業を継続することができた。

地域活動支援センターの利用状況は、11月に1名が退所し、3月31日現在で10名が契約している。

事業面では、各利用者へ個別に作成した機能訓練メニューを取り入れた日課の運動を毎日を行うことで、自主的に取り組む意識付けができた。

健康面では、看護師による健康チェックのほか、保護者、職員間で情報を共有し体調から精神面までを把握し、利用者支援の向上に努めた。

その他、第9回を迎えた「あゆみエンジョイSummer」は消毒や換気を徹底し、あゆみ利用者の方のみの参加に変更したことで中止することなく実施することができた。

貸館事業においては、利用はなかった。

事業内容

1 基本事業

① 機能訓練（5事業 112回実施）

ア 日常生活動作訓練（22回実施）

日常生活上の身体の動作が合理的に運動できるよう、レザー製作をとおした訓練や体操を作業療法士の指導により月2回行った。

イ 機能回復訓練（44回実施）

毎週金曜日と第1、第3木曜日に障害の状態や能力に応じた座位、立位、歩行訓練等の機能訓練を理学療法士の指導により行った。

ウ 家事訓練（11回実施）

栄養バランスを考えた簡単な料理等を月1回行った。

エ 音楽療法（24回実施）

心の癒しや機能回復の促進を図るため、講師の指導により月2回行った。

オ 和太鼓療法（11回実施）

心の癒しや安定、機能の維持、回復の促進を図るため、講師の指導により月1回行った。

② 社会適応訓練（2事業 57回実施）

ア パソコン（45回実施）

毎週金曜日に、自己表現や意思の伝達手段、インターネット等を講師の指導により行った。

イ ストレッチ（12回実施）

軽運動やダンスをとおして自己の運動能力の維持、助長等を図るため、月1回行った。

③ 創作的活動（2事業 248回実施）

ア 書画（10回実施）

絵画、習字をとおして自己表現や感性を磨き、手指機能の維持、回復を図るため、講師の指導により行った。

イ 軽作業（238回実施）

障害の状態や能力に応じてマット編み、レザー製品作り等を行った。

④レクリエーション（11回実施）

レクリエーション活動を月1回行った。（スポーツ大会、クリスマス会等）

⑤入浴（235回実施）

家庭での入浴が困難な障害者に入浴サービスの提供を行った。

⑥送迎（813回実施）

自力通所や家庭送迎が困難な障害者が、一日でも多く利用できるよう送迎を行った。

⑦介護指導（1回実施）

消防署職員の指導のもと、AED（自動体外式除細動器）を使った心肺蘇生法などについての講習を受けた。

⑧健康指導（380回実施）

障害者の疾病に留意し、血圧・検温のほか状態観察、健康管理、ケア等を行った。

2 合同行事

①第43回ときわバザー（令和5年10月28日）

通常より規模を縮小し、近隣の住民の方々などを対象に来場していただく形で4年ぶりに実施した。ふじの木園会場とニコット会場に分けて、法人内各施設と保護者の製品販売、ゲームコーナー、ワークショップ、キッチンカーによる販売を行った。あゆみからは施設製品販売での参加とした。また、あらかじめワークショップの材料を購入し、後日、利用者が同じ内容のもの（レザープレートに好みのフェルトを貼って作る壁飾り）をあゆみで行ったことで、楽しむことができた。

②交流会（令和6年1月18日）

感染予防のため代替行事として「今年も一年頑張りましょう会」を事業所毎で実施した。新成人の紹介、職員顕彰や音楽療法講師による演奏のDVD鑑賞を行うことで、従来の交流会に近づいた内容となり、皆で楽しむことができた。あゆみからは1名の利用者が新成人となったため、お祝いをした。

3 貸館事業

- ・利用実績なし

4 中期計画の令和5年度の取り組み

(1) 今後の事業の方向性

指定管理

今後の指定管理事業について江南市と協議を行った。結果、令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間で第5期指定管理契約として締結した。

(2) 利用者サービスの向上

ア 利用者支援

感染予防対策を取り入れた講座、行事等に継続して取り組んだ。

日常の中での課題を機能訓練の講座の際に講師の理学療法士に伝え、新たな運動のメニューを加える等して見直しを図った。

車椅子への移乗について、福祉用具の専門員から移乗時のポイントについてアドバイスを受け、安楽な座位保持が保てるように支援した。

利用者支援の充実を目的に喀痰吸引等研修を受講した。

職員会議では利用者支援について介助方法や精神面のケアについて意見交換を行い、支援の質の向上につなげた。

イ 入浴、送迎サービスの見直し

入浴サービスでは、バルーンカテーテルの留置を開始した利用者に対して、安全に配慮した中で介助を行った。

送迎サービスでは、効率的に巡回できるよう送迎ルートの見直しを行った。

令和5年度 江南市在宅障害者デイサービス施設あゆみ行事等報告

(1) 行 事

月 日	行 事 等
7.25	あゆみエンジョイSummer
10.18	避難訓練
10.24	あゆみスポーツ大会
10.28	第43回ときわバザー(縮小開催)
12.19	あゆみクリスマス会
1.18	交流会(中止) 今年も一年頑張りましたろう会(交流会代替行事) あゆみ新年会
2.22	介護教室
3.21	避難訓練

(2) 視察・福祉体験学習など

月 日	内 容
8.23	福祉体験学習 [江南市立布袋中学校 生徒 1名]

(3) バザー参加

月 日	他団体協力バザー
4.22	藤まつり
10.8	ふくし江南ふれあいまつり

利用者の状況

令和6年3月31日現在

1 利用者年齢別 (単位:人)

年齢	男	女	計
20歳未満	0	0	0
20～29	3	0	3
30～39	1	0	1
40～49	1	1	2
50～59	1	1	2
60以上	2	0	2
合計	8	2	10

2 障害支援区分 (単位:人)

障害支援区分	男	女	計
6	3	2	5
5	2	0	2
4	1	0	1
3	0	0	0
2	0	0	0
1	0	0	0
非該当	2	0	2
合計	8	2	10

3 利用日数の構成 (単位:人)

利用日数	男	女	計
20日以上	4	1	5
10～19	1	0	1
0～9	3	1	4
合計	8	2	10

1 利用者の事業別利用状況

・事業日数 242日 ・利用延べ人員 1400人 ・1日あたりの平均利用人員 5.8人

講座名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		
	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	
機能訓練	日常生活動作訓練	2	13	2	12	2	13	2	12	1	5	2	14	1	5
	機能回復訓練	4	29	3	19	5	31	4	23	3	20	4	25	4	24
	家事訓練	1	6	1	7	1	7	1	6	1	5	1	5	0	0
	音楽療法	2	12	2	13	2	13	2	13	2	13	2	7	2	13
	和太鼓療法	1	7	1	5	1	5	1	6	1	6	1	5	0	0
小計	10	67	9	56	11	69	10	60	8	49	10	56	7	42	
社会適応訓練	パソコン	4	24	3	21	5	27	4	23	3	17	4	19	4	22
	ストレッチ	1	6	1	6	1	6	1	6	1	6	1	6	1	6
	小計	5	30	4	27	6	33	5	29	4	23	5	25	5	28
創作的活動	書画	1	6	1	5	1	5	1	6	0	0	0	0	1	6
	軽作業	20	129	20	109	22	116	19	118	21	113	18	120	21	128
	小計	21	135	21	114	23	121	20	124	21	113	18	120	22	134
レクリエーション	1	7	1	7	1	8	1	5	1	8	0	0	1	7	
入浴サービス	20	109	20	109	22	117	20	103	21	113	15	80	19	96	
送迎サービス	75	168	70	161	82	175	70	153	76	170	61	133	75	165	
更生相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
健康指導	36	36	26	26	25	25	30	30	40	40	21	21	28	28	
介護指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
小計	132	320	117	303	130	325	121	291	138	331	97	234	123	296	
総計	168	552	151	500	170	548	156	504	171	516	130	435	157	500	

事業名	講座名	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1回あたりの 平均利用状況
		回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	回数	利用人員	
機能訓練	日常生活動作訓練	2	10	2	10	2	9	2	9	2	10	22	122	5.5
	機能回復訓練	3	22	3	21	4	20	4	22	3	19	44	275	6.3
	家事訓練	1	6	1	5	1	4	1	4	1	5	11	60	5.5
	音楽療法	2	13	2	10	2	10	2	10	2	10	24	137	5.7
	和太鼓療法	1	7	1	4	1	4	1	4	1	5	11	58	5.3
社会適応訓練	小計	9	58	9	50	10	47	10	49	9	49	112	652	5.8
	パソコン	3	22	4	19	4	18	2	15	5	20	45	247	5.5
	ストレッチ	1	6	1	5	1	5	1	5	1	5	12	68	5.7
	小計	4	28	5	24	5	23	3	20	6	25	57	315	5.5
	書画	1	6	1	5	1	5	1	5	1	5	10	54	5.4
創作的活動	軽作業	20	120	20	100	18	90	19	92	20	101	238	1,336	5.6
	小計	21	126	21	105	19	95	20	97	21	106	248	1,390	5.6
	レクリエーション	1	6	1	6	1	5	1	6	1	5	11	70	6.4
入浴サ－ビス	20	99	20	84	19	72	19	72	20	84	235	1,138	4.5(日)	
送迎サ－ビス	71	157	59	124	57	118	57	120	60	127	813	1,771	2.5(回)	
更生相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—
健康指導	23	23	41	41	35	35	35	35	40	40	380	380	380	1.0(日)
介護指導	0	0	0	0	0	0	0	1	5	0	0	1	5	5.0
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
小計	115	285	121	255	112	230	113	238	121	256	1,440	3,364		
総計	149	497	156	434	146	395	146	404	157	436	1,857	5,721		

2 貸館事業利用状況

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
平日利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休日利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

月	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1ヶ月あたりの平均利用状況	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
平日利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
休日利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

3 見学者等の状況

月	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
見学者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
実習	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
研修・体験	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	0

月	11月		12月		1月		2月		3月		合計		1ヶ月あたりの平均利用状況	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
見学者	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1	0.1
実習	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0.2	0.1
研修・体験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.1	0.1
苦情	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
合計	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	4	3		